

ISSN 1882-5230

むかわ町
穂別博物館館報

第34号

平成28（2016）年度版

むかわ町穂別博物館

目 次

沿革	----- (p. 1)
施設の概要	----- (p. 5)
施設平面図	----- (p. 5)
展示活動	----- (p. 6)
教育普及活動	----- (p. 7)
広報活動	----- (p. 13)
資料収集保存活動	----- (p. 17)
調査研究活動ほか	----- (p. 26)
運営	----- (p. 29)

穂別博物館は、昭和 57(1982) 年に開設され現在に至っている。

昭和 50(1975) 年に発見された長頸竜「ホベツアラキリュウ」標本が契機となり設置計画が検討された当初は「穂別町郷土資料館」との名称だったが、建設計画では「穂別町立博物館」として名称変更されている。

当博物館では「本町で発見される化石（自然史）」の研究・保存・普及と「町の歴史（人文）」の保存・普及を行う総合博物館として運営していたが、約 10 年にわたる博物館活動の結果、自然史系資料の蓄積量と人文系資料の保存等に要する作業量に大きな差が生じ、活動方針の変更が余儀なくなった。

そこで活動方針を「穂別地域で産出する古生物（化石）を材料とし『地球と生命の歴史を考える』総合博物館とする」ことに変更したのである。

ここではその経緯を記録し、今後の活動等の充実と強化に努めていきたい。

なお、当博物館は、国の公立社会教育施設整備事業及び北海道市町村振興事業の補助を受け建設されている。

I 「建設の目的」と「展示更新」、「名称変更」

〈穂別町郷土資料館建設の目的〉

『本町は、クビナガリュウをはじめデスモスチルス、海ガメなど多くの動植物の化石が発見されることから、道内でも特異な地質条件にあることが予想される。こうした自然環境を背景に、先人は寒冷地での生活に耐え抜いて開拓の苦闘に打ち勝って穂別の歴史を展開してきた。穂別町開町 70 年（町制施行 20 年）を記念して、本町の地質系統と生物の進化、開拓の足跡を示す歴史資料を収集・保存・展示して、先人がいかに自然との調和を図りながら開拓を進めてきたかを理解し、そして未来を創造するために穂別町郷土資料館を建設するものである。』

＜昭和 55(1980) 年 11 月 26 日＞

〈展示更新の基本的考え方〉

『穂別地域で発見される脊椎動物を始めとするさまざまな化石群が、学術的に貴重なものであることは主張するまでもない。さらに、化石を古生物としてみた場合、学術的な意味を離れても、一般の観覧者にさまざまな示唆を与えてくれるものなのである。

旧来の博物館と異なり、化石をいわゆる「変・古・珍」として扱わず、「我々人間につながる生き物」として見ることを展示の基本に置く。実物は「穂別地域産」にこだわり、模型は「生きていたときの姿」にこだわる。そして、現在の種々の生き物達の間接関係と同じく、過去の「古」生物達にも同様の生態系としての関連があったこと、さらに、それらは数十億年も昔から現在にかけて綿々と続く「生命の歴史」の 1 頁 1 頁であることを理解させる博物館とする。』

＜平成 2(1990) 年 6 月 27 日＞

〈市町村合併による名称変更〉

平成 18(2006) 年 3 月 27 日に穂別町と鶴川町の合併によって「むかわ町」が誕生し、町立博物館である当館の名称は、新町の名称に合わせて変更する必要性が生じた。しかしながら、これまでの実績との継続性、また、登録資料番号（HM-：HOBETSU MUSEUM の略）の維持のため、新名称には「穂別」の文字を残すこととし、新たな名称を「むかわ町穂別博物館」（英語表記：HOBETSU MUSEUM）とした。

II 沿革

- * 本年表において「長頸竜」・「首長竜」・「クビナガリュウ」・「ホベツアラキリュウ」の使い分けは、以下の通り。
- ・長頸竜：動物分類上の suborder PLESIOSAURIA の和訳として用いている。「蛇頸竜亜目」または「長頸竜亜目」が正式名称。
- ・首長竜：「発掘調査団」の固有名義として使用。
- ・クビナガリュウ：長頸竜の通称として使用。
- ・ホベツアラキリュウ：「穂別町首長竜化石発掘調査団」によって発掘された長頸竜標本の名称。
- * 名称等は、当時のまま表記してある。

昭和 50(1975) 年

- 6 月：荒木新太郎氏（穂別町在住）が穂別町字長和において、脊椎動物化石の入った母岩を発見、一部を採集した。

昭和 51(1976) 年

- 9 月：佐藤昌人指導員（苫小牧青少年センター）・佐藤隆久教諭（穂別町立仁和小学校）が荒木氏発見の脊椎動物化石を長谷川善和主任研究員（国立科学博物館）に鑑定を依頼した。

昭和 52(1977) 年

- 2 月：長谷川主任研究員の鑑定結果が新聞で報道された。荒木氏発見の脊椎動物化石が白亜紀海棲爬虫類の鱗の一部であると確認された。
- 7 月 5-8 日：「穂別町首長竜化石発掘調査団」結成、発掘調査。この長頸竜標本を後に「ホベツアラキリュウ」と命名。

昭和 53(1978) 年

- 5 月：「ホベツアラキリュウ」標本のクリーニング（割出）作業開始
- 11 月：穂別町立郷土資料館 開館（旧・穂別町立さくら保育所施設利用）

昭和 54(1979) 年

- 3 月 5 日：「首長竜化石骨」が穂別町指定文化財第 2 号に指定される。（平成元年 4 月 1 日より、「ホベツアラキリュウ化石骨」と呼称）

昭和 55(1980) 年

- 10 月 16 日：「穂別町郷土資料館建設計画検討委員会」発足

昭和 56(1981) 年

- 3 月 13 日：施設の名称を穂別町郷土資料館から穂別町立博物館に変更

昭和 56(1981) 年

- 7 月-12 月：博物館建設工事
- 9 月 1 日：鈴木茂学芸員就任（- 昭和 60 年 3 月 31 日）

昭和 57(1982) 年

- 1 月 16 日：長頸竜復元作業開始
- 3 月-6 月：博物館展示工事
- 7 月 20 日：博物館開館。一般公開開始（初代館長：今幸太郎教育長兼任）
- 8 月 26 日：「博物館協議会」発足
- 11 月 1 日：北海道博物館協会加入
- 12 月 19 日：長頸竜（ホベツアラキリュウ）復元骨格展示公開
- 12 月 19 日-1 月 23 日：特別展（第 1 回）「よみがえるクビナガリュウ」

昭和 58(1983) 年

- 3 月 2 日：博物館法による登録博物館となる（北博登第 28 号）
- 3 月 28 日：「博物館協力会」設立
- 4 月 1 日：日本博物館協会加入
- 4 月 28 日：菅原康次（第二代）館長就任
- 7 月 22 日-8 月 7 日：収蔵資料展（第 1 回）「地図展」
- 8 月 1 日：全国科学博物館協議会加入
- 11 月 1 日-3 日：収蔵資料展（第 2 回）「こけし展」

昭和 59(1984) 年

- 2 月：村上隆著「よみがえるクビナガリュウ」発刊
- 3 月 27 日：「穂別町立博物館研究報告」刊行開始
- 6 月 14 日：第二展示室（町立博物館保存庫）完成
- 11 月 1 日-4 日：収蔵資料展（第 3 回）「古い写真・古い文書展」
- 12 月 1 日：桜庭勝美（第三代）館長就任

昭和 60(1985) 年

- 3 月 30 日：「穂別町立博物館館報」刊行開始
- 5 月 1 日：地徳学芸員就任（- 平成 11 年 3 月 31 日）
- 11 月 1 日-10 日：特別展（第 2 回）「北海道一億年」

昭和 61(1986) 年

- 10 月 21 日-11 月 9 日：特別展（第 3 回）「穂別の自然」

昭和 62(1987) 年

- 1 月 1 日：今幸太郎（第四代）館長就任（教育長兼任）
- 7 月 28 日-8 月 9 日：特別展（第 4 回）「アンモナイトの系図」

昭和 63(1988) 年

- 7 月 17 日：第三展示室（保存庫）完成
- 8 月 23 日-9 月 4 日：特別展（第 5 回）「穂別のカメラ化石」
- 10 月 6 日：今幸太郎（第五代）館長就任（専任）

平成元(1989) 年

- 6 月 30 日：仲谷英夫氏（香川大学助教授）：長頸竜ホベツアラキリュウ標本の記載論文公表
- 7 月 18 日-8 月 20 日：特別展（第 6 回）「穂別のむかし = 写真で見る穂別の歴史 =」
- 9 月 29 日-10 月 6 日：地徳学芸員をカナダ・アルバータ州ティレル古生物学博物館に派遣した。

平成 2(1990) 年

- 7 月 23 日：ドラムヘラー市長夫妻（カナダ、アルバータ州）来館
- 8 月 18 日-9 月 16 日：特別展（第 7 回）「戦争と穂別」
- 9 月 3 日-5 日：レイド、M.G. 氏（アルバータ州ティレル古生物学博物館）来館
- 12 月 31 日：野田藤雄（第六代）館長就任（教育長兼任）

平成 3(1991) 年

- 4 月 1 日：佐藤稔（第七代）館長就任
- 4 月 28 日、29 日：入館者 10 万人突破記念事業

平成 4(1992) 年

- 2 月 1 日：展示更新工事開始
- 4 月 23 日-25 日：カリー、P. J. 氏（アルバータ州ティレル古生物学博物館）来館
- 4 月 29 日：展示更新完了、一般公開再開

平成 6(1994) 年

- 4 月 1 日：野田藤雄（第八代）館長就任（教育長兼任）
- 4 月 1 日：川上源太郎学芸員就任（- 平成 10 年 3 月 31 日）

- 平成7(1995)年
7月15日-9月12日:川上学芸員をカナダ・アルバータ州ティレル古生物学博物館に派遣、研修。
8月12日:かせき学習館完成
- 平成8(1996)年
7月27日-28日:’96北海道化石サミット開催(徳別町民センター)
10月6日:大江美津夫(第九代)館長就任
- 平成9(1997)年
7月6日、7月10日-8月31日:クビナガリュウ発掘20周年記念事業パネル展(第8回特別展)
- 平成10(1998)年
4月1日:櫻井和彦学芸員就任(-現在)
6月11日:星功(第十代)館長就任
8月11日-8月31日:特別展(第9回)「地球物語り(地質学普及書の近代史)」
- 平成11(1999)年
1月1日:山田正(第十一代)館長就任
5月29日:入館者30万人突破記念事業
8月1日-8月31日:特別展(第10回)「滄龍の泳いだ海-7000万年前の徳別-」
10月5日-11月28日:特別展(第11回)「徳別の自然」
- 平成12(2000)年
8月1日-8月31日、9月14日-10月1日:特別展(第12回)「徳別の石-川原の石から見た徳別」
9月14日-10月1日:日胆地区博物館等連絡協議会主催移動展「日高・胆振の博物館紹介」
- 平成13(2001)年
8月1日-8月25日:特別展(第13回)「徳別町立博物館の20年-クビナガリュウとともに-」
- 平成14(2002)年
4月28日-5月17日:特別展(第14回)「ツノのある奇妙なカメ-海の徳別からリクガメ化石の発見-」
7月1日-21日:特別展(第15回)「徳別町立博物館の20年-クビナガリュウとともに-」(再公開)
7月20日:開館20周年記念講演・討論会「化石の里(まち)の博物館」
7月27日-8月9日:博物館協力会企画展「徳別の化石」
8月31日-9月27日:特別展(第16回)「徳別のカメ化石-恐竜時代のウミガメとリクガメ」
- 平成15(2003)年
1月1日:清川博之(第十二代)館長就任
7月20日-8月31日:特別展(第17回)「徳別を泳いだモササウルス」
11月1日-1月31日:特別展(第18回)「虫とくらし」(協力:北海道開拓記念館)
- 平成16(2004)年
7月17日-8月31日:特別展(第19回)「クジラとデスマスチルス-徳別を泳いだ哺乳類-」
10月30日-12月12日:特別展(第20回)「火山と地震-佐々保雄北海道大学名誉教授一括資料展」
- 平成17(2005)年
7月16日-8月31日:特別展(第21回)「ホベツアラキリュウ発見30年」
- 10月29日-12月18日:特別展(第22回)「絵はがきは語る-旅の思い出・昔のまちなみ-」(協力:北海道開拓記念館)
- 平成18(2006)年
3月27日:「むかわ町」誕生(徳別町・鶴川町の合併による)、当館の名称を「むかわ町立徳別博物館」と改称
3月27日:本多廣行(第十三代)館長就任
7月15日-9月3日:特別展(第23回)「貝が語るむかわの一億年」
10月28日-12月17日:特別展(第24回)「むかわの自然-山と干潟の生き物たち-」
- 平成19(2007)年
4月1日:柏恵一(第十四代)館長就任
7月21日-9月2日:特別展(第25回)「むかわの一億年-化石や石が語る五つの海」
11月3日-12月2日:特別展(第26回)「鉱業のまち、ほべつ-徳別の炭鉱と鉱山の歴史-」
- 平成20(2008)年
7月19日-8月31日:特別展(第27回)「海へ帰った動物たち-徳別のセキツイ動物の秘密-」
11月1日-12月7日:特別展(第28回)「徳別D遺跡-一万年前の人々のくらし-」
- 平成21(2009)年
7月18日-9月30日:特別展(第29回)「徳別海竜博物館-徳別を泳いでいた海竜たち-」
- 平成22(2010)年
2月6日-5月30日:特別展(第30回)「北海道アンモナイト図鑑」
7月17日-10月31日:特別展(第31回)「白亜紀ウミガメ化石展」
- 平成23(2011)年
3月19日-5月29日:特別展(第32回)「白亜紀巨大二枚貝 イノセラムス・ホベツエンシス展」
4月1日:今莊光男(第十五代)館長就任
7月23日-10月30日:特別展(第33回)「歯の私たち-クビナガリュウ vs モササウルス-」
12月3日:「モササウルス国際シンポジウム」
- 平成24(2012)年
4月-平成25(2013)年3月:徳別産恐竜化石発掘調査 書類申請準備
12月25日-平成25(2013)年3月6日:むかわ町モササウルス類化石複製品作成委託
- 平成25(2013)年
4月1日:阿部勉(第十六代)館長就任
9月2日-10月5日:徳別産恐竜化石発掘調査(第一次発掘)
- 平成26(2014)年
9月4日-9月30日:徳別産恐竜化石発掘調査(第二次発掘)
- 平成27(2015)年
4月1日:加藤英樹(第十七代)館長就任
4月1日:西村智弘学芸員就任(平成21年度-平成26年度 嘱託職員)
9月12日-9月30日:徳別恐竜化石発掘調査(第三次発掘)

平成 28(2016) 年

4 月 1 日：田口 博（第十八代）館長就任

7 月 16 日～11 月 6 日：特別展（第 34 回）「モササウルス展」

7 月 30 日～9 月 18 日：穂別恐竜化石発掘調査（第四次発掘）



佐藤准教授によるクビナガリュウ化石の観察（2016.5.2）



夏季特別展（2016.7.16-11.6）



ゴビサポート・ジャパンでの技能研修（2016.5.9）



むかわ竜第四次発掘調査（2016.7.31）

施設の概要

【位 置】

北海道勇払郡むかわ町穂別 80 番地 6

平成 21 年度：展示映像機器整備

「太古の海－クビナガリュウからのメッセージ」

事業費：4,116,000 円（消費税込）

【町立博物館】

〔構造規模〕

建築構造：鉄筋コンクリート平屋建

建築面積：1,100m²

常設展示室	372.88m ²
特別展示室	99.08m ²
収蔵庫	86.56m ²
事務室	40.50m ²
研究室	31.50m ²
整理室	29.92m ²
学習展示室	184.75m ²
書庫	35.05m ²
共用部門	219.76m ²

〔工 期〕

昭和 56 年度～ 57 年度

〔総事業費〕

362,165,000 円

〔展示更新〕

平成 3 年度～平成 4 年度：博物館展示替え工事

事業費：99,910,000 円（消費税込）

平成 5 年度：マルチスライドイメージソフト制作

事業費：6,890,700 円（消費税込）

【かせき学習館】

〔構造規模〕

建築構造：鉄筋コンクリート平屋建

建築面積：325.89m²

事務室	56.70m ²
作業室	56.70m ²
書庫	14.04m ²
レプリカ室	12.15m ²
処理室	12.15m ²
展示物保管庫	162.00m ²
共用部門	12.15m ²

〔工 期〕

平成 7 年度

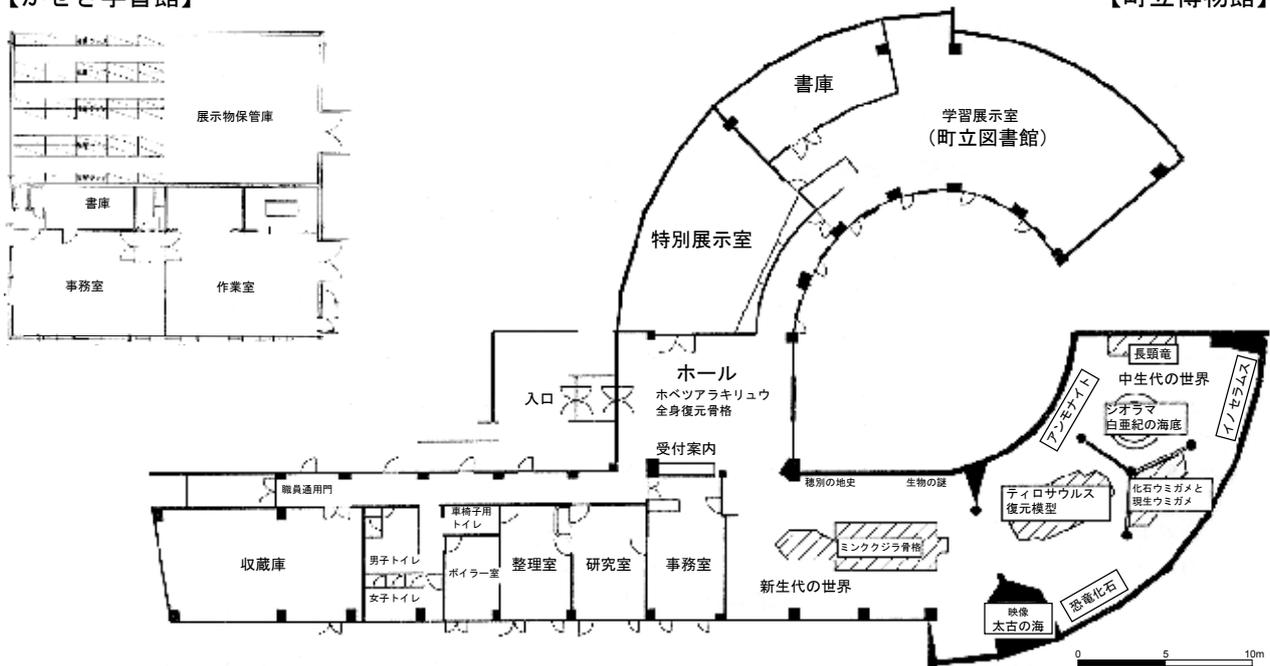
〔総事業費〕

57,092,900 円（消費税込み）

施設平面図

【かせき学習館】

【町立博物館】



展示活動

I 常設展示

主にむかわ町穂別地区から産出した動物化石を中心に、地質・化石資料やその復元模型を展示している。

【常設展示の変更】

4/30 恐竜化石コーナーの修正（展示パネルの追加）

12/1 白亜紀コウモリダコ (*Nanaimoteuthis jeletzkyi*) の下顎 (HMG-1689) を追加

【常設展示資料】

種 別		分 類		点 数	
化石	中生代	脊椎動物	魚類	10	48
			爬虫類 (恐竜 1、長頸竜 14 ^{**} 、モササウルス 14 ^{**} 、カメ 7、他 2)	38	
		軟体動物	頭足類 117、腹足類 9、斧足類 46、掘足類 1	173	
		その他動物	節足動物 7、棘皮動物 6、刺胞動物 3	16	
		植物		14	
	生痕		1		
	新生代	脊椎動物	魚類	4	24
			哺乳類 (クジラ 9、束柱類 2 ^{**} 、他 9 ^{**})	20	
		軟体動物	腹足類 25、斧足類 27、掘足類 4	56	
		その他動物	節足動物 3、棘皮動物 1	4	
植物		8			
現生生物	脊椎動物	爬虫類 (カメ)	3	11	
		哺乳類 (クジラ 5、他 3)	8		
	軟体動物	頭足類 2	2		
	その他動物	節足動物 1、棘皮動物 2、刺胞動物 2	5		
	植物		1		
岩石・鉱物			29		
復元模型	脊椎動物	爬虫類 3 (長頸竜 1、モササウルス 1、ウミガメ 1)、哺乳類 1	4		
その他	その他模型 3、映像 4	7			
合 計				403	

(2017年3月31日現在) ※レプリカ含む

教育普及活動

※利用者の区分は以下の通り

幼：小学生未満、小：小学生～高校生、大：一般

I 博物館事業（博物館の主催・共催事業）

【ミニ展示】

(1) 「むかわと世界の恐竜パネル展」

会期：平成 28(2016) 年 4 月 26 日 -5 月 29 日

会場：穂別博物館 特別展示室

内容：むかわ恐竜と同じ白亜紀後期マーストリヒチアンの恐竜をパネルで紹介、むかわ恐竜のクリーニング済み新規資料を展示、ハドロサウルス科恐竜エドモントサウルスの頭骨レプリカを展示。

(2) 「北海道のアンモナイト新研究 2016 浦河産カンパニアン期後期アンモナイト」

会期：平成 28(2016) 年 11 月 12 日 -12 月 4 日

会場：穂別博物館 特別展示室

内容：新たに報告された浦河産アンモナイトについて、穂別博物館および国立科学博物館の収蔵資料により紹介。

(3) 「北海道のアンモナイト新研究 2017 宗谷丘陵産マーストリヒチアン期アンモナイト」

会期：平成 29(2017) 年 3 月 1 日 -7 月 2 日

会場：穂別博物館 特別展示室

内容：新たに報告された宗谷丘陵産アンモナイトについて、穂別博物館収蔵資料に基づき紹介。合わせて同時代のモササウルス、恐竜の解説。

【特別展】

(1) 「モササウルス展」

会期：平成 28(2016) 年 7 月 16 日 -11 月 6 日

会場：穂別博物館 特別展示室

内容：白亜紀の海を制したモササウルスを紹介。当館の収蔵資料を始め、道内外の代表的な標本を合わせて展示。フォスフォロサウルス・ポンペテレガンスの全身骨格図を公開した。

見学者数（会期中の入館者数）：5,810 人

【町民文化祭】

(1) 第 60 回むかわ町穂別地区町民文化祭へ出展

会期：平成 28(2016) 年 10 月 21 日 -23 日

会場：穂別町民センター 多目的ホール

内容：昼行性のモササウルス・ホバツエンシスと夜行性のフォスフォロサウルス・ポンペテレガンスを紹介

【共催の展示会】

(1) 札幌青少年科学館 夏の特別展 2016 「北海道恐竜展 ハドロサウルス類の進化の謎に挑戦」

主催：札幌青少年科学館

会期：平成 28(2016) 年 7 月 23 日 - 8 月 21 日

会場：札幌青少年科学館（札幌市）

内容：展示資料の貸し出し、穂別恐竜の展示監修、講演会講師担当（別記）

(2) 浦河町立郷土資料館 ミニ企画展「浦河産アンモナイト新研究 2016」

共催：浦河町立郷土資料館

会期：平成 28(2016) 年 10 月 15 日 - 11 月 3 日

会場：浦河町郷土資料館

内容：報道発表、展示資料の貸し出し、展示設営、普及講演会対応（別記）

【普及講演会】

(1) 「恐竜×長頸竜（キョウリュウ対クビナガリュウ）恐竜時代のむかわ町穂別 - 陸の生物・海の生物」

日時：平成 28(2016) 年 12 月 3 日

講師・題名

小林快次（北海道大学総合博物館准教授）「むかわ町穂別のハドロサウルス科の起源を追い求めて in2016」

佐藤たまき（東京学芸大学准教授）「むかわ町穂別のクビナガリュウ」

中川晶子（JTB 北海道）「地域資源：むかわ町はこんなに素晴らしい！」

会場：むかわ四季の館 研修室

参加者：120 人

【恐竜化石発掘体験ツアー】

恐竜化石補足調査（第四次発掘）に合わせて発掘現場で化石の発掘体験を実施した。各回定員 23 名。事前申込・抽選で選出した。

観覧料（「運営」を参照）を徴収した。

参加人数計：190 人

(1) 平成 28(2016) 年 7 月 30 日 発掘体験ツアー①(計 19 人)：むかわ町民限定

(2) 平成 28(2016) 年 7 月 31 日 発掘体験ツアー②(計 11 人)：むかわ町民限定

(3) 平成 28(2016) 年 8 月 27 日 発掘体験ツアー③(計 21 人+ JTB 視察 6 人)

(4) 平成 28(2016) 年 8 月 28 日 発掘体験ツアー④(計 14 人)

- (5) 平成 28(2016) 年 9 月 3 日 発掘体験ツアー⑤(計 20 人)
- (6) 平成 28(2016) 年 9 月 4 日 発掘体験ツアー⑥(計 15 人)
- (7) 平成 28(2016) 年 9 月 10 日 発掘体験ツアー⑦(計 22 人)
- (8) 平成 28(2016) 年 9 月 11 日 発掘探検ツアー⑧(計 23 人)
- (9) 平成 28(2016) 年 9 月 17 日 発掘探検ツアー⑨(計 22 人)
- (10) 平成 28(2016) 年 9 月 18 日 発掘体験ツアー⑩(計 23 人) ※雨天のため林道からの見学のみ

【恐竜デー 2016】

化石体験コーナーとして「恐竜デー 2016」を大型連休および夏休みに実施した。

(1) 大型連休

<実施内容>

①恐竜が産した露頭(崖)の岩石プレゼント:約7,200 万年前の岩石を、博物館受付窓口にて各日先着 200 名に配布。

②アンモナイトレプリカアクセサリーづくり:温めると軟化するプラスチック樹脂を用いたアンモナイトのストラップづくりを 10:00-16:00 の時間帯で実施した。材料費として 1 個 100 円を徴収。むかわ町民は 1 日 1 個まで無料とした。

<開催日・成果>

平成 28(2016) 年 5 月 3 日

① 200 個、② 99 人・99 個

平成 28(2016) 年 5 月 4 日

① 200 個、② 101 人・102 個

平成 28(2016) 年 5 月 5 日

① 200 個、② 62 人・68 個

計 ①岩石プレゼント:600 個

②レプリカアクセサリー:262 人・269 個

(2) 夏休み

<実施内容>

①恐竜が産した露頭(崖)の岩石プレゼント:約7,200 万年前の岩石を、博物館受付窓口にて各日先着 200 名に配布。

②モササウルスのシールプレゼント:各日先着 50 名(博物館指定 1 種類)、化石レプリカづくり・恐竜化石バックヤードツアー・レプリカアクセサリーづくり参加でそれぞれ 1 枚プレゼント(5 種類の中から選択)

③化石レプリカづくり:10 時 00 分開始・先着 30 名まで。常設展展示標本の石膏模型づくり。それぞれ

解説シート付き。材料費として 1 個 100 円を徴収。

④恐竜化石バックヤードツアー:11 時 30 分、13 時 00 分、14 時 30 分開始・各回先着 30 名まで。穂別産恐竜化石の説明と、収蔵庫および恐竜化石のクリーニング作業の案内と解説。

⑤アンモナイトレプリカアクセサリーづくり:15 時 00 分~16 時 00 分。温めると軟化するプラスチック樹脂を用いたアンモナイトのストラップづくり。材料費として 1 個 100 円を徴収。

<開催日・成果>

平成 28(2016) 年 8 月 6 日

① 43 個、③ 4 人・4 個、④ 28 人、⑤ 2 人・2 個

平成 28(2016) 年 8 月 7 日

① 86 個、③ 3 人・3 個、④ 25 人、⑤ 3 人・2 個

平成 28(2016) 年 8 月 13 日

① 105 個、② 7 人・7 個、④ 72 人、⑤ 9 人・10 個

平成 28(2016) 年 8 月 14 日

① 158 個、② 3 人・3 個、④ 56 人、⑤ 11 人・11 個

平成 28(2016) 年 8 月 20 日

① 44 個、② 1 人・1 個、④ 14 人、⑤ 4 人・5 個

平成 28(2016) 年 8 月 21 日

① 68 個、② 4 人・4 個、④ 13 人、⑤ 5 人・5 個

計 ①岩石プレゼント:504 個

③化石レプリカづくり:22 人・22 個

④恐竜化石バックヤードツアー:208 人

⑤レプリカアクセサリー:34 人・35 個

【博物館見学バスツアー】

①穂別の恐竜と、北海道の化石と文化を知る、②穂別地区から化石が多産していることを再確認する、を目的に実施した。

対象 むかわ町民(小学生以上)

見学地 ①穂別博物館

②北海道博物館(札幌市)

実施日 平成 28(2016) 年 11 月 13 日

参加者 計 16 人(幼 1、小 8、大 7)

【恐竜の歯化石をさがそう】

むかわ竜発掘現場から持ち帰った岩石から歯化石などを探す。むかわ町民限定事業。

対象 むかわ町民

実施日 平成 29(2017) 年 3 月 26 日

参加者 10 人(小 6、大 4)

【ワークシート等】

来館者を対象に、博物館展示室に各種シートを設置。自由参加のため、数は確認していない。

①博物館探検シート：クイズ形式で、展示室の化石について学ぶ（全4枚）。

II 運営協力等

【講師派遣】

(1) 日本応用地質学会北海道支部 総会・特別講演会

題名：「むかわ町穂別の化石と恐竜化石の発掘」

講師：西村智弘学芸員

日時：平成28(2016)年4月22日 15:00-15:40

会場：北海道大学学術交流会館

参加人数：約60人

(2) さっぽろ市民カレッジ2016春・夏 ちえりあ学

習ボランティア企画講座【北海道の巨大古代生物】

題名：第1回「北海道の恐竜化石とクビナガリュウ
～穂別の海と陸の生物～」

講師：櫻井和彦学芸員

日時：平成28(2016)年6月29日 18:45-20:45

会場：札幌市生涯学習センターちえりあ

参加人数：30人

(3) 札幌青少年科学館 夏の特別展2016「北海道恐竜展
ハドロサウルス類の進化の謎に挑戦」特別講演会

題名：第二弾「むかわ町穂別で化石大発見！」

講師：西村智弘学芸員

日時：平成28(2016)年8月17日 13:00-14:00

会場：札幌青少年科学館

参加人数：50人

(4) 浦河町立郷土資料館 ミニ企画展「浦河産アンモナイト
新研究2016」講演会

題名：「浦河のアンモナイト」

講師：西村智弘学芸員

日時：平成28(2016)年11月3日 14:00-15:00

会場：浦河町総合文化会館2階 第三研修室

参加人数：11人

(5) NHK 室蘭放送局 恐竜化石発掘展 講演会

講師：小林快次准教授・西村智弘学芸員

日時：平成29(2017)年1月7日

会場：NHK 室蘭放送局

参加人数：150人

(展示については「学術協力・運営協力」を参照)

【学術協力・運営協力】

(1) 名古屋市科学館特別展「恐竜・化石研究所」(平成27年度より継続)

主催：名古屋市科学館

内容：展示資料の貸し出し

会場：名古屋市科学館（名古屋市）

会期：平成28(2016)年1月6日-6月30日

(2) 恐竜博2016 東京会場（平成27年度より継続）

主催：国立科学博物館、朝日新聞社、テレビ朝日

内容：展示資料・映像・画像等の貸し出し、むかわ竜の展示監修

会場：国立科学博物館（東京都）

会期：平成28(2016)年3月8日-6月12日

(3) 恐竜博2016 北九州会場

主催：北九州市立博物館、朝日新聞社、テレビ朝日

内容：展示資料・映像・画像等の貸し出し、むかわ竜の展示監修

会場：北九州市立いのちのたび博物館（北九州市）

会期：平成28(2016)年7月7日-9月4日

(4) 北海道博物館 第2回特別展「ジオパークへ行こう！ - 恐竜、アンモナイト、火山、地球の不思議を探す旅 -」

主催：北海道博物館

内容：展示資料（ホバツアラキリュウ全身復元骨格）の貸し出し

会場：北海道博物館（札幌市）

会期：平成28(2016)年7月9日-9月25日

(5) 札幌青少年科学館 夏の特別展2016「北海道恐竜展
ハドロサウルス類の進化の謎に挑戦」（「共催の展示会」を参照）

(6) 夏休み特別企画「化石展」

主催：センチュリーロイヤルホテル

内容：展示資料の貸し出し

会場：センチュリーロイヤルホテル（札幌市）

会期：平成28(2016)年7月23日-8月31日

(7) 北海道大学総合博物館 トピックス展示

主催：北海道大学総合博物館

内容：展示資料の貸し出し

会場：北海道大学総合博物館

会期：平成28(2016)年7月26日-9月10日

(8) 恐竜博2016 大阪会場

主催：朝日新聞社、関西テレビ放送

内容：展示資料・映像・画像等の貸し出し、むかわ竜の展示監修

会場：大阪文化館・天保山（大阪市）

会期：平成28(2016)年9月17日-11月9日

(9) 2017 博物館フェスタ in チカホ

主催：札幌市博物館活動センター

内容：むかわ竜の紹介

会場：札幌市地下歩行空間（札幌市）

会期：平成29(2017)年1月6日-9日

協力：足寄動物化石博物館、穂別博物館

来場者：5,434人

(10)NHK 室蘭放送局 恐竜化石発掘展

主催：NHK 室蘭放送局

内容：むかわ竜の紹介、穂別の化石紹介

会場：NHK 室蘭放送局（室蘭市）

会期：平成 29(2017)年 1月 7日 -10日

関連事業：平成 29(2017)年 1月 7日 小林快次准

教授・西村智弘学芸員 講演

来場者：2,588人

【取材対応】

<新聞取材>

随時対応

<テレビ取材等>

平成 28(2016)年 4月

6日 NHK 室蘭放送局（大 2）<取材下見>

13日 NHK 室蘭放送局（大 3）<事前取材>

19日 NHK 札幌放送局（大 4）<事前取材>

20日 NHK 札幌放送局（大 4）<番組取材>

平成 28(2016)年 5月

19日 株式会社情報企画（大 1）<取材>

平成 28(2016)年 8月

19日 HBC ディレクター（大 1）<事前取材>

24日 HBC（大 1）<事前取材>

25日 HBC（大 5）<番組取材>

平成 28(2016)年 9月

1日 HTB（大 4）<番組取材>

7日 HBC（大 2）<番組取材>

28日 HBC（大 3）<むかわ町 PV 撮影>

平成 28(2016)年 10月

14日 HBC（大 15）<番組取材>

26日 HBC（大 7）<番組取材>

平成 28(2016)11月

10日 HBC（大 3）<クリーニング作業撮影>

12日 FM ノースウェーブ（大 6）<番組収録>

平成 28(2016)12月

11日 NHK 室蘭放送局（大 5）<映像記録>

平成 29(2017)年 2月

25日 NHK エンタープライズ（大 2）<取材>

平成 29(2017)3月

17日 NHK 室蘭放送局（大 4）<番組取材>

【その他】

(1) 穂別産恐竜化石の紹介コーナー

担当：地域おこし協力隊 太田晶

内容：むかわ恐竜化石の紹介

会場：穂別地球体験館ロビー

会期：平成 28(2016)年 4月 1日 -平成 29(2017)年 3月 31日

Ⅲ 団体等の利用

Ⅲ - 1 町内団体等の利用

【町内学校・教育関係団体】

平成 28(2016)年 5月

26日 むかわ町教育研究会（総合）（大 3）<展示見学>

31日 穂別小学校 4年 化石学習<展示見学>（小 18・大 2）

平成 28(2016)年 6月

7-9日 穂別高校 2年インターンシップ（小 1）

28日 小中高一貫ふるさとキャリア教育推進事業 <講演（穂別高校）>

平成 28(2016)年 7月

21日 富内小学校全学年<化石採集>（小 6・大 6）

平成 28(2016)年 8月

22日 穂別小学校 4年<化石採集>（小 17・大 2）

31日 穂別小学校 4年<化石クリーニング・レプリカづくり>（小 17・大 2）

平成 28(2016)年 9月

13日 宮戸小学校 3・4年（総合学習）<展示見学・化石採集>（小 6・大 2）

13日 穂別高校 1年施設見学<展示見学>（小 15・大 6）

15日 穂別小学校「自然クラブ」<展示見学>（小 9・大 1）

29日 むかわ町教育研究会（理科）<展示見学>（大 3）

平成 28(2016)年 10月

5日 ふるさと一貫キャリア教育事業（穂別高校 1年）<展示見学>（小 7・大 2）

13日 富内小学校 4年生化石学習<展示見学・質問対応>（小 2・大 1）

18日 ふるさと一貫キャリア教育事業（穂別高校 1年・穂別中学校 3年）<展示案内練習・アンモナイトストラップ作り練習>（小 17・大 5）

18日 -19日 穂別中学校職場体験（小 1）

28日 ふるさと一貫キャリア教育事業（穂別高校 1年・穂別中学校 3年・穂別小学校 4年）<展示案内・アンモナイトストラップ作り>（小 33・大 24）

平成 29(2017)年 2月

8日 鶴川中央小学校3年生化石学習<展示見学・
クリーニング見学・質問対応>(小38・大3)

【町内各種団体】

平成28(2016)年4月

8日 むかわ町役場初任者研修(大13)

平成28(2016)年7月

13日 山村留学視察(大5)

平成29(2017)年3月

1日 むかわ町文化財審議会視察(大7)

Ⅲ-2 町外団体の利用

【町外学校・教育関係団体】

平成28(2016)年5月

21日 恵庭市教育委員会 恵庭子ども塾(小24・
大7)

平成28(2016)年6月

17日 北海道長沼高校(小57・大3)

平成28(2016)年7月

1日 上江別小学校(小113・大3)

平成28(2016)年8月

5日 大藤学童クラブ(小47・大9)

平成28(2016)年9月

28日 日高小学校(小8・大3)

平成28(2016)年10月

4日 富川ひばり幼稚園(年長)(幼30・大3)

5日 富川ひばり幼稚園(年中)(幼38・大3)

6日 富川ひばり幼稚園(年少)(幼3・大3)

平成29(2017)年2月

7-10日 伊達高等養護学校2年生職場体験(小1)

【町外各種団体】

平成28(2016)年4月

23日 苫小牧ハスカップライオンズクラブ(大20)

平成28(2016)年5月

25日 道新文化センター(大19)

31日 鶴川・沙流川 WAKUWAKU 協議会(大3)

平成28(2016)年6月

23日 幸福長寿会(帯広市)(大24)

平成28(2016)年7月

18日 苫小牧スコーレ(小77・大3)

30日 身体障害者福祉協会浦河協会(小2・大12)

31日 新ひだか町本桐地区育成協(小6・大6)

31日 札幌羊ヶ丘カージナルス(小29)

平成28(2016)年8月

4日 むかわ町交流人口推進穂別協議会(小8・大2)

7日 今金町ドリームバスツアー(小33・大10)

7日 札幌西区子ども会(小43・大7)

14日 公益団体 千歳青少年教育財団(小49・大2)
平成28(2016)年9月

25日 札幌生涯学習センターちえりあボランティア
(大23)

平成28(2016)年10月

12日 平成28年度第3回胆振管内社会教育主事等
研修会(大17)

18日 稲苑大学旅行会(大17)

18日 JTB 鶴川沙流川モニターツアー(大6)

29日 苫小牧拓勇東町内会(大5・小79)

平成28(2016)年11月

23日 JTB 鶴川沙流川モニターツアー(大18)

平成29(2017)年2月

11日 JTB 鶴川・沙流川モニターツアー(大8)

【資料調査等】

平成28(2016)年4月

14日 北海道博物館学芸員<借用資料調査>(大3)

平成28(2016)年5月

24日 中央宣伝企画株式会社ほか<借用資料調査
>(大2)

平成28(2016)年6月

2日 センチュリーロイヤルホテル(札幌市)<借
用資料調査>(大3)

9日 札幌市青少年科学館職員<企画展打ち合わせ
>(大2)

21日 北海道博物館学芸員<借用資料調査>(大2)

22日 NPO 噴火湾アートビレッジ 永山優子<展示
見学・露頭観察>(大1)

平成28(2016)年7月

20日 センチュリーロイヤルホテル副社長ほか<
借用資料調査>(大2)

平成28(2016)年10月

25日 北海道教育委員会文化財・博物館課文化財
保護グループ 玉川主幹・藤原氏<道指定天然
記念物の調査>

平成28(2016)年11月

2日 北海道教育委員会文化財・博物館課文化財保
護グループ 玉川主幹・藤原氏<道指定天然記
念物の調査>

【視察】

平成28(2016)年5月

25日 北海道胆振総合振興局局长、地域政策部長、
地位域創生部主幹(大3)

26日 北海道教育庁胆振教育局教育支援課長、社会教育指導班主査、高等学校教育指導班主査（大3）
 平成28(2016)年6月
 17日 胆振教育局次長ほか（大4）
 28日 胆振教育局次長ほか（大3）
 平成28(2016)年7月
 5日 胆振教育局長、胆振教育局教育支援課社会教育指導班主査（大2）
 22日 群馬県神流町議会行政視察（大20）
 平成28(2016)年8月
 4日 北海道胆振総合振興局職員（大2）
 4日 まちづくり講演会講師・恐竜ワールドセンターほか<恐竜発掘現場の視察ほか>（大10人）
 11日 北海道水産林務部次長、北海道胆振総合振興局森林室室長・主幹、苫小牧広域森林組合参

事ほか<恐竜発掘現場の視察>（大6）
 平成28(2016)年9月
 11日 北海道胆振総合振興局森林室室長（大1）
 14日 国土交通省田中良生副大臣ほか（北海道開発局、むかわ町長ほか）（大28）
 平成28(2016)年10月
 28日 北海道教育委員会委員（大3）
 平成28(2016)年12月
 19日 教育行政視察 北海道教育委員会鶴羽教育委員、阿部局長、松本教育部長、金田主幹、千葉主事ほか（大8）
 平成29(2017)年2月
 8日 北海道大学観光学高等研究センター職員ほか（大4）
 平成29(2017)年3月
 17日 北海道胆振総合振興局森林室元管理課長（大3）



恐竜デー夏休み（2016.8.7）



宮戸小学校による化石採集体験（2016.9.13）



穂別小学校4年生による化石採集体験（2016.8.22）



むかわ竜発掘現場における化石発掘体験（2016.9.17）

I 博物館広報活動

【ホッピーだより（博物館広報紙）】

- A 4 版両面。博物館からのお知らせ、行事予定を掲載。ホームページで公開し、町内の公共施設や学校等へ配布。
- 377 号<平成 28 年（2016）年 4 月>「ミニ企画展 むかわと世界の恐竜パネル展／恐竜博 2016 に恐竜化石・発掘道具などが展示、2015 年度の学会発表」
- 378 号<平成 28 年（2016）年 5 月>「恐竜化石産出部位報告、ミニ企画展 むかわと世界の恐竜パネル展 開催中／2015 年度の寄贈資料」
- 379 号<平成 28 年（2016）年 6 月>「日本の恐竜②ニッポノサウルス」
- 380 号<平成 28 年（2016）年 7 月>「むかわ町穂別博物館 2016 年特別展 モササウルス展／むかわ町穂別産恐竜の発掘記『ザ・パーフェクト』出版」
- 381 号<平成 28 年（2016）年 8 月>「穂別博物館イベント 恐竜デー 2016 夏／恐竜化石発掘体験ツアー 参加者募集」
- 382 号<平成 28 年（2016）年 9 月>「2016 年特別展 モササウルス展 紹介」
- 383 号<平成 28 年（2016）年 10 月>「2016 普及講演会 恐竜×長頸竜 恐竜時代のむかわ町穂別-陸の生物・海の生物-／博物館収蔵資料の紹介 15 白亜紀末のアンモナイト パキディスカス・コバヤシイ」
- 384 号<平成 28 年（2016）年 11 月>「北海道浦河町から新たなアンモナイト群を発見・新種アンモナイト ディディモセラス・ヒダケンゼを発見」
- 385 号<平成 28 年（2016）年 12 月>「むかわ町穂別からも白亜紀大型コウモリダコ化石発見」
- 386 号<平成 29 年（2017）年 1 月>「むかわ町穂別産ハドロサウルス科の通称を『むかわ竜』と命名／普及講演会 恐竜×長頸竜 開催／2016 年の調査・研究などでの来館者」
- 387 号<平成 29 年（2017）年 2 月>「アンモナイトが北海道の石（化石）に認定／博物館収蔵資料の紹介 16 白亜紀のイノセラムス スフェノセラムス・ヘトナイアヌス」
- 388 号<平成 29 年（2017）年 3 月>「ティラノサウルス『スコッティ』が来た！／北海道で未発見の白亜紀末アンモナイト群を宗谷丘陵から発見」

【博物館ホームページ】

ホッピーだよりなど随時更新した。

アドレス <http://www.town.mukawa.lg.jp/1908.htm>

【むかわ町穂別博物館ブログ】

行事予定など随時更新した。

アドレス <http://pomu.town.mukawa.lg.jp/module/1550.htm#moduleid1550>（むかわ町ポータルサイト POMU 内）

II 報道関係

【むかわ竜関連】

※以下に記した以外にもインターネットで多数配信された

(1) むかわ竜

<新聞>

- ①平成 28(2016)年 12 月 6 日 苫小牧民報／第 2 面
／「町内発見の恐竜化石 総称を『むかわ竜』に」
- ②平成 29(2017)年 1 月 7 日 北海道新聞／朝／25 面（苫小牧・日高）／「化石の名は『むかわ竜』」

<広報紙等>

- ①平成 28(2016)年 5 月 1 日 苫小牧民報社 CoCot vol. 60 「恐竜化石をみるなら是非ここへ！」
- ②平成 28(2016)年 8 月 19 日 NHK ウィークリーステラ 8 月 12・19 号「知られざる恐竜王国ニッポン」

<出版物>

- ①平成 28(2016)年 7 月発行 「ワンダーしぜんランド 9 月号」 p. 24・25 株式会社世界文化社
- ②平成 28(2016)年 7 月 21 日発行 「ザ・パーフェクト 日本初の恐竜全身骨格発掘記」（執筆：土屋健、監修：小林快次・櫻井和彦・西村智弘）誠文堂新光社
- ③平成 28(2016)年 9 月 30 日発行 EPOCH (No. 73) p. 1-7 「北海道および穂別地域の化石・古生物と 2013・2014 年に発掘した調査・研究中のハドロサウルス科恐竜について」（執筆：西村学芸員）日本応用地質学会北海道支部・北海道応用地質研究会

<特集番組>

- ①平成 28(2016)年 7 月 30 日 10:06-10:53 NHK 総合 プロフェッショナル 仕事の流儀「若き化石ハンター太古の謎に挑む 恐竜学者・小林快次」<取材協力 むかわ町穂別博物館>（道内放送・再放送）
- ②平成 28(2016)年 8 月 13 日 21:00-22:29 NHK BS プレミアム「知られざる恐竜王国ニッポン」<取材協力 むかわ町穂別博物館 櫻井和彦・西

村智弘>

③平成 29(2017) 年 1 月 8 日 19:30-20:00 NHK 総合「ダーウィンが来た! 『史上最強! ティラノサウルスの真実』」<取材協力 むかわ町穂別博物館>

(2) 普及講演会「恐竜×長頸竜」

<新聞>

①平成 28(2016) 年 12 月 2 日 苫小牧民報/2 面/「恐竜やクビナガリュウの魅力紹介 あす むかわ四季の館」

②平成 28(2016) 年 12 月 6 日 室蘭民報/12 面(東胆振・日高) / 『むかわ竜』は国宝級 専門家 2 准教授 最新の研究成果発表」

③平成 28(2016) 年 12 月 6 日 読売新聞/朝/33 面(道南) / 「恐竜化石新種の可能性 むかわで講演会」

④平成 28(2016) 年 12 月 6 日 苫小牧民報/2 面/「むかわで恐竜普及講演会 化石発掘や研究を解説」

(3) ミニ企画展「むかわと世界の恐竜パネル展」

<新聞>

①平成 28(2016) 年 4 月 22 日 苫小牧民報/第 2 面 / 「世界の恐竜パネル展 ハドロサウルス科恐竜の新規資料公開」

②平成 28(2016) 年 5 月 5 日 室蘭民報/第 2 面/「ハドロサウルス科恐竜新たな化石を公開 穂別博物館がパネル展」

③平成 28(2016) 年 5 月 6 日 苫小牧民報/第 2 面 / 「恐竜パネル展好評 GW 親子連れなど大勢来訪」

④平成 28(2016) 年 5 月 7 日 朝日新聞/朝/第 23 面(道内) / 「ハドロサウルス科恐竜 新たな骨化石公開」

(4) 発掘体験ツアー

<新聞>

①平成 28(2016) 年 8 月 2 日 苫小牧民報/第 2 面 / 「恐竜化石発掘体験ツアー」

②平成 28(2016) 年 8 月 2 日 毎日新聞/朝/第 26 面(北海道) / 「恐竜化石発掘体験ツアー」

③平成 28(2016) 年 8 月 5 日 朝日新聞/朝/第 26 面(道内) / 「恐竜化石現場で町民ら発掘体験」

④平成 28(2016) 年 8 月 10 日 室蘭民報/第 11 面(東胆振・日高) / 「恐竜化石 発掘体験を」

⑤平成 28(2016) 年 8 月 12 日 北海道新聞/朝/第 23 面(苫小牧・日高) / 「恐竜発掘現場で化石採集しよう」

⑥平成 28(2016) 年 8 月 16 日 苫小牧民報/第 2 面 / 「化石発掘ツアー参加者募集」

⑦平成 28(2016) 年 8 月 25 日 読売新聞/朝/第 12 面(地域) / 「恐竜化石発掘体験ツアー」

⑧平成 28(2016) 年 9 月 20 日 苫小牧民報/第 2 面 / 「恐竜化石発掘体験ツアー終了」

<テレビ>

①平成 28(2016) 年 8 月 25 日 HBC「今日ドキッ!」

(5) 恐竜デー

<新聞>

①平成 28(2016) 年 8 月 16 日 苫小牧民報/第 2 面 / 「バックヤード見学人気」

(6) 恐竜博 2016 (国立科学博物館・東京)

<新聞>

①平成 28(2016) 年 4 月 2 日 室蘭民報/第 12 面(東胆振・日高) / 「穂別の恐竜化石大腿骨 国立科学博物館で展示」

②平成 28(2016) 年 4 月 5 日 北海道新聞/朝/第 33 面(第 1 社会面) / 「恐竜見えるかな 北大生、化石クリーニング」

(7)NHK 室蘭放送局 恐竜化石発掘展

<新聞>

①平成 28(2016) 年 12 月 27 日 読売新聞/朝/29 面(道南) / 「むかわの恐竜化石 室蘭で冬休み企画展」

<テレビ>

①平成 29(2017)年 1 月 6 日 NHK 総合 18:10- ほっとニュース北海道: 室蘭放送局での展示「恐竜化石発掘展」の紹介

【モササウルス】

(1) 研究

<出版物>

①平成 28(2016) 年 9 月発行 国立科学博物館広報紙 milsil vol.9 No.5 p20-21 「日本を代表するモササウルス類化石が世に出るまで」(執筆: 西村智弘学芸員)

(2) 特別展

<新聞>

①平成 28(2016) 年 7 月 14 日 苫小牧民報/第 2 面 / 16 日から「モササウルス展」

②平成 28(2016) 年 7 月 20 日 苫小牧民報/第 2 面 / 「モササウルス展開幕」

③平成 28(2016) 年 8 月 4 日 室蘭民報/第 11 面(東胆振・日高) / 「世界初の両眼視モササウルス展」

【アンモナイト研究①】

<報道会見>

日時: 平成 28 年 10 月 14 日

会場：浦河町立郷土博物館（浦河町）

<新聞>

- ①平成 28(2016)年 10月 15日 日高報知新聞／第 1面／「新種のアンモナイト」
- ②平成 28(2016)年 10月 15日 北海道新聞／朝／第 32面(第 4社会面)／「アンモナイト新種発見」
- ③平成 28(2016)年 10月 15日 朝日新聞／朝／第 33面(道内)／「浦河産アンモナイト『新種』」
- ④平成 28(2016)年 10月 15日 苫小牧民報／第 1面／「新種アンモナイト発見」
- ⑤平成 28(2016)年 10月 15日 室蘭民報／第 5面／「新種アンモナイト発見」
- ⑥平成 28(2016)年 11月 6日 日高報知新聞／第 2面／「浦河のアンモナイトで講演」
- ⑦平成 28(2016)年 11月 18日 苫小牧民報／第 2面／「浦河産の新種など展示」

<その他>

- ①平成 28(2016)年 11月 1日発行 広報うらかわ 11月号「町内で新種のアンモナイト発見」

【アンモナイト研究②】

<報道会見>

日時：平成 29(2017)年 3月 1日

会場：むかわ町穂別博物館特別展示室

<新聞>

- ①平成 29(2017)年 3月 2日 苫小牧民報／第 15面(第 1社会面)／「猿払で発見のアンモナイト 2種 道内では初確認」
- ②平成 29(2017)年 3月 2日 北海道新聞／朝／第 31面(第 4社会面)／「猿払のアンモナイト 2種とも道内初確認」
- ③平成 29(2017)年 3月 2日 毎日新聞／朝／第 28面(北海道)／「アンモナイトをむかわ町に寄贈 札幌の伊豆倉さん」
- ④平成 29(2017)年 3月 10日 朝日新聞／朝／第 26面(道内面)／「白亜紀末期地層から発見 アンモナイト群むかわで展示中」
- ⑤平成 29(2017)年 3月 10日 読売新聞／朝／第 29面(道南地域面)／「7,100 万年前アンモナイト展示 札幌の研究者発見」

【コウモリダコ】

<報道会見>

日時：平成 28年 12月 1日

会場：穂別博物館 常設展示室

参加者：新聞社 6社

<新聞>

- ①平成 28(2016)年 12月 2日 北海道新聞／第 25面(苫小牧・日高)／「穂別に大型タコ化石」
- ②平成 28(2016)年 12月 2日 苫小牧民報／第 1面／「コウモリダコ化石発見」
- ③平成 28(2016)年 12月 2日 毎日新聞／第 27面(北海道)／「コウモリダコ下顎の化石」
- ④平成 28(2016)年 12月 3日 室蘭民報／第 12面(東胆振・日高)／「町内初 大型コウモリダコ」
- ⑤平成 28(2016)年 12月 3日 読売新聞／第 27面(道南)／「コウモリダコの化石発見」

<その他>

- ①平成 28(2016)年 12月 1日発行 広報むかわ 12月号「むかわ町からも恐竜時代のコウモリダコ化石が発見」

【化石全般・博物館】

<新聞>

- ①平成 28(2016)年 10月 13日 室蘭民報／第 11面(東胆振・日高)／「恐竜の郷 穂別の挑戦<上> アイデア勝負で発掘体験」
- ②平成 28(2016)年 10月 13日 室蘭民報／第 12面(東胆振・日高)／「恐竜の郷 穂別の挑戦<中> 4年間の発掘成果」
- ③平成 28(2016)年 10月 13日 室蘭民報／第 12面(東胆振・日高)／「恐竜の郷 穂別の挑戦<下> 4年間の歩み」
- ④平成 29(2017)年 1月 1日 苫小牧民報 第 2部 総合／第 1面／「むかわ町穂別博物館 貴重な化石ずらり」
- ⑤平成 29(2017)年 1月 1日 苫小牧民報 第 2部 総合／第 4面／「注目集めるむかわ町穂別地区 多様な化石発見」
- ⑥平成 29(2017)年 3月 5日 北海道新聞／17面(苫小牧日高)／「人ものがたり むかわ町穂別博物館学芸補助員下山正美さん」
- ⑦平成 29(2017)年 3月 8日 北海道新聞／18面(苫小牧圏)／「ティラノサウルスの骨格模型 穂別博物館を改修、展示へ」

<出版物>

- ①平成 28(2016)年 6月 10日発行 子供の科学 2016年 7月号(第 79巻第 7号)「KoKa おすすめ 体験型自由研究 この夏、化石を掘ろう！」(執筆: 土屋健) 誠文堂新光社
- ②平成 28(2016)年 8月発行 こどもチャレンジ 8月号韓国版 ベネッセコーポレーション

<テレビ>

- ①平成 28(2016)年 4月 30日 NHK 総合 おはよう

北海道土曜プラス「ぶらり見てある記」

- ②平成 28(2016) 年 12 月 31 日 10:50- HBC 羽田
美智子の北海道ゆるり☆再発見の旅～鶴川・沙流
川を訪ねて～

<ラジオ>

- ①平成 28(2016) 年 11 月 17 日 13:00 FM ノース
ウェーブ「ハイジのお出かけスバル」
- ②平成 28(2016) 12 月 11 日 17:00-17:30 FM おた
る「30 分限定ラジオ観光大使」

【レプリカ作製技能研修】

<新聞>

- ①平成 28(2016) 年 5 月 7 日 北海道新聞／朝／第
28 面（第 4 社会面）／「恐竜骨格複製の職人を
専門会社に職員派遣」
- ②平成 28(2016) 年 5 月 17 日 北海道新聞／朝／第
25 面（苫小牧圏<しおさい>）／「恐竜ビジネ
スけん引を」

【恐竜ワールド構想関連】

<新聞>

- ①平成 28(2016) 年 5 月 10 日 北海道新聞／朝／第
23 面（札幌圏<探る見る>）／「恐竜化石で地
域活性化 むかわ町『ワールド構想』準備着々」
- ②平成 29(2017) 年 3 月 18 日 毎日新聞／朝／第
28 面（北海道）／「恐竜化石の街、看板で PR」
- ③平成 29(2017) 年 3 月 31 日 北海道新聞／朝／第
20 面（苫小牧圏）「むかわ 恐竜ワールドに」

<出版物>

- ①平成 28(2016) 年 9 月発行 公益財団法人北海道
市町村振興協会プラクティス 2016-9/No. 22/p52
「むかわ町 恐竜ワールド構想を推進！」

【センチュリーロイヤルホテル（札幌市）化石展】

<新聞等>

- ①平成 28(2016) 年 7 月 25 日 苫小牧民報／第 4 面
（北海道）／『化石展』始まる むかわ町モササ
ウルス複製も展示」
- ②平成 28(2016) 年 7 月 27 日 札幌経済新聞／「札
幌のホテルロビーで化石展」
- ③平成 28(2016) 年 7 月 27 日 YAHOO! JAPAN ニュー
ス／「札幌のホテルロビーで化石展」
- ④平成 28(2016) 年 7 月 28 日 北海道新聞／朝／第
31 面／こだま

【その他】

<新聞>

- ①平成 28(2016) 年 5 月 11 日 北海道新聞／朝／第
25 面（苫小牧・日高）／「都道府県の石決定
アンモナイト・むかわ」

【広告等掲載】

【北海道じゃらん】（リクルート北海道じゃらん）

平成 28(2016) 年：5 月号、8 月号

I 登録資料等

【博物館登録資料数】

自然史系登録資料 (HMG) <地質・化石資料> 1,796 点
自然系登録資料 (HMB) <現生動植物資料> : 169 点
人文系登録資料 (HMC) <民俗・歴史資料> : 3,761 点
計 5,726 点 (2017.3.31. 現在)

【タイプ等】

HMG-12 : *Mosasaurus hobetsuensis* Suzuki, 1985 のホロタイプ (新種)
HMG-387 : *Kentriodon hobetsu* Ichishima, 1994 のホロタイプ (新種)
HMG-5 : *Mesodermochelys undulatus* Hirayama and Chitoku, 1996 のホロタイプ (新属新種)
HMG-1065 : *Mosasaurus prismaticus* Sakurai et.al., 1999 のホロタイプ (新種)
HMG-1056 : *Anomalochelys angulata* Hirayama et.al., 2001 のホロタイプ (新属新種)
HMG-1573 : *Gaudryceras hobetsense* Shigeta and Nishimura, 2013 のホロタイプ (新種)
(パラタイプ : HMG-134、HMG-1592)
HMG- 1587a,b,c,d : *Phylloptychoceras horitai* Shigeta and Nishimura, 2013 のホロタイプ・パラタイプ (新種)
HMG-136 : *Anagaudryceras compressum* Shigeta and Nishimura, 2014 のホロタイプ (新種)
(パラタイプ : HMG-1594、HMG-1595、HMG-1596、HMG-1597、HMG-1626)
HMG-1528 : *Phosphorosaurus ponpetelegans* Konishi et al. 2016 のホロタイプ (新種)
HMG-1660 : *Didymoceras hidakense* Shigeta et al., 2016 のホロタイプ (新種)
(パラタイプ : HMG-1661、HMG-1662、HMG-1663、HMG-1664、HMG-1665、HMG-1666)

【町指定文化財】

むかわ町指定文化財登録番号第 3 号 : 「ホベツアラキリュウ化石骨」 (HMG-1)

II 野外調査活動

【現地調査】 12 回 (恐竜化石発掘関連を除く)

うち、外部研究者等 (研) と合同調査 : 1 回

4 月 : 24、25 (研)

5 月 : 13、29

6 月 : 4、5、12、18、19、25、26

11 月 : 5

III 新規受入資料

III - 1 寄贈

受入番号 : 寄贈資料 / 点数 / 寄贈者名 (敬称略)

【自然史系資料】 (35 件・112 点)

2016-001 : アンモナイト密集標本 (*Mesopuzosia*

yubarensis) / 1 / 松田敏昭 (札幌市)
2016-002 : アンモナイト (プゾシアの仲間) / 1 / 岩田正敏 (札幌市)
2016-003 : アンモナイト (プゾシアの仲間) / 1 / 岡島孝義 (三笠市)
2016-004 : アンモナイト (キャナドセラス *Canadoceras* sp.) / 1 / 森伸一 (富良野市)
2016-005 : アンモナイト (プゾシアの仲間) / 1 / 伊豆倉正隆 (札幌市)
2016-006 : アンモナイト (ジンボイセラス) ほか / 1 / 伊豆倉正隆 (札幌市)
2016-007 : アンモナイト (プゾシアの仲間) / 1 / 伊豆倉正隆 (札幌市)
2016-008 : アンモナイト (プゾシアの仲間) ほか / 1 / 藤原寛一 (三笠市)
2016-009 : アンモナイト含有ノジュール / 1 / 服部義幸 (千歳化石会)
2016-010 : アンモナイト含有ノジュール / 1 / 古野竹志 (千歳化石会)

2016-011: 貝化石等含有ノジュール / 1 / 林光重 (千歳化石会)
 2016-012: アンモナイト含有ノジュール / 1 / 林光重 (千歳化石会)
 2016-013: イノセラムス / 1 / 服部義幸 (千歳化石会)
 2016-014: アンモナイト / 1 / 服部義幸 (千歳化石会)
 2016-015: イノセラムスほか / 1 / 服部義幸 (千歳化石会)
 2016-016: アンモナイト (*Gaudryceras hobetsense*) / 1 / 服部義幸 (千歳化石会)
 2016-017: アンモナイトほか / 1 / 安倍寛治 (千歳化石会)
 2016-018: 化石・岩石 / 17 / 齊藤尚美 (むかわ町穂別)
 2016-019: フナクイムシの跡のみの化石 / 1 / 松永豪
 2016-020: 骨化石 / 1 / 加藤英樹
 2016-021: 化石 (アンモナイトなど) / 55 / 加藤英樹ほか (協力者: 太田晶、干場芽衣、三輪和美)
 2016-026: 骨化石 / 1 / 服部義幸 (千歳化石会)
 2016-027: 骨化石 / 1 / 堀田良幸 (むかわ町穂別)
 2016-028: 骨化石 / 1 / 堀田良幸 (むかわ町穂別)
 2016-029: 笠型巻貝・二枚貝・アンモナイト / 8 / 堀田良幸 (むかわ町穂別)
 2016-030: 大型アンモナイト / 1 / 岡島孝義 (三笠市)
 2016-031: 大型アンモナイト / 1 / 岡島孝義 (三笠市)
 2016-032: 大型アンモナイト *Mesopuzosia* / 1 / 岡島孝義 (三笠市)・長谷川浩二 (三笠市)
 2016-033: アンモナイト *Tetragonites glabrus* / 1 / 長谷川浩二 (三笠市)
 2016-034: ウニ化石・アンモナイト *Tetragonites glabrus* / 1 / 長谷川浩二 (三笠市)
 2016-035: 二枚貝化石 / 1 / 柳田透 (せたな町)
 2016-036: 材木化石 / 1 / 柳田透 (せたな町)
 2016-037: 巻貝化石 / 1 / 柳田透 (せたな町)
 2016-038: 骨化石 (クビナガリュウ?) / 1 / 長谷川浩二 (三笠市)
 2016-040: アンモナイト *Patagiosites* / 1 / 堀田良幸 (むかわ町穂別)

【自然系資料】(2件・2点)

2016-041: クマタカ剥製 / 1 / 明河新一 (むかわ町穂別)
 2016-042: コウライキジ剥製 / 1 / 明河新一 (むかわ町穂別)

Ⅲ - 2 採集

【自然史系資料】(3件・277点)

2016-039: カメ化石 / 1 / 穂別博物館
 2016-043: 穂別産恐竜化石 (HMG-1219 追加資料) / 3
 2016-044: 穂別産恐竜化石共産化石 (二枚貝・巻貝・アンモナイトなど) / 273

Ⅲ - 3 交換

【自然史系資料】(4件・4点)

フォスフォロサウルス・ボンペテレガンスのホロタイプ (HMG-1528) のレプリカー一式と、下記4点のレプリカを交換した
 2016-022: ラッセロサウルス *Russellosaurus coheni* ホロタイプのレプリカ / 1 / Michael Polcyn (アメリカ・サザンメソジスト大学)
 2016-023: パキラキス *Pachyrhachis problematicus* ホロタイプのレプリカ / 1 / Michael Polcyn (アメリカ・サザンメソジスト大学)
 2016-024: パキラキス *Pachyrhachis problematicus* 第二標本のレプリカ / 1 / Michael Polcyn (アメリカ・サザンメソジスト大学)
 2016-025: ハーシオピス *Haasiophis terrasanctus* ホロタイプのレプリカ / 1 / Michael Polcyn (アメリカ・サザンメソジスト大学)

Ⅲ - 4 購入

【自然史系資料】(1件・1点)

2016-055: ティラノサウルス *Tyrannosaurus rex* "Scotty" 全身復元骨格レプリカ / 1 / 朝日新聞社

Ⅳ 新規登録資料

登録番号: 資料名 / 受入番号 / 寄贈 (採集) 者名 (敬称略)

【自然史系資料 (HMG)】(化石・地質): 145点

HMG-1650: アンモナイト *Saghalinites teshioensis* / 2016-046 / 吉川幸叙
 HMG-1651: アンモナイト *Tetragonites popetensis* / 2016-045 / 伊豆倉正隆
 HMG-1652: アンモナイト *Tetragonites popetensis* / 2016-045 / 伊豆倉正隆
 HMG-1653: アンモナイト *Gaudryceras* sp. / 2016-046 / 吉川幸叙
 HMG-1654: アンモナイト *Baculites subanceps* / 2016-046 / 吉川幸叙

- HMG-1655 : アンモナイト *Desmophyllites diphyloides* / 2016-045 / 伊豆倉正隆
- HMG-1656 : アンモナイト *Menuites* sp. / 2016-047 / 西村智弘
- HMG-1657 : アンモナイト *Menuites* sp. / 2016-046 / 吉川幸叙
- HMG-1658 : アンモナイト *Menuites* sp. / 2016-045 / 伊豆倉正隆
- HMG-1659 : アンモナイト *Metaplacenticeras subtilistriatum* / 2016-045 / 伊豆倉正
- HMG-1660 : アンモナイト *Didymoceras hidakense* / 2016-045 / 伊豆倉正隆
- HMG-1661 : アンモナイト *Didymoceras hidakense* / 2016-045 / 伊豆倉正隆
- HMG-1662 : アンモナイト *Didymoceras hidakense* / 2016-045 / 伊豆倉正隆
- HMG-1663 : アンモナイト *Didymoceras hidakense* / 2016-045 / 伊豆倉正隆
- HMG-1664 : アンモナイト *Didymoceras hidakense* / 2016-046 / 吉川幸叙
- HMG-1665 : アンモナイト *Didymoceras hidakense* / 2016-046 / 吉川幸叙
- HMG-1666 : アンモナイト *Didymoceras hidakense* / 2016-045 / 伊豆倉正隆
- HMG-1667 : アンモナイト *Baculites subanceps* / 2016-045 / 伊豆倉正隆
- HMG-1668 : アンモナイト *Baculites subanceps* / 2016-045 / 伊豆倉正隆
- HMG-1669 : アンモナイト *Baculites subanceps* / 2016-045 / 伊豆倉正隆
- HMG-1670 : アンモナイト *Baculites subanceps* / 2016-045 / 伊豆倉正隆
- HMG-1671 : アンモナイト *Baculites subanceps* / 2016-045 / 伊豆倉正隆
- HMG-1672 : アンモナイト *Baculites subanceps* / 2016-045 / 伊豆倉正隆
- HMG-1673 : アンモナイト *Baculites subanceps* / 2016-045 / 伊豆倉正隆
- HMG-1674 : アンモナイト *Baculites subanceps* / 2016-045 / 伊豆倉正隆
- HMG-1675 : アンモナイト *Baculites subanceps* / 2016-046 / 吉川幸叙
- HMG-1676 : アンモナイト *Baculites subanceps* / 2016-046 / 吉川幸叙
- HMG-1696 : アンモナイト *Gaudryceras hobetsense* / 2016-016 / 服部義幸 (千歳化石会)
- HMG-1697 : モササウルス *Russellosaurus coheni* ホロタイプ / 2016-022 / Michael Polcyn (交換)
- HMG-1698 : ヘビ化石 *Pachyrhachis problematicus* ホロタイプのレプリカ / 2016-023 / Michael Polcyn (交換)
- HMG-1699 : ヘビ化石 *Pachyrhachis problematicus* 第二標本のレプリカ / 2016-024 / Michael Polcyn (交換)
- HMG-1700 : ヘビ化石 *Haasiophis terrasanctus* ホロタイプのレプリカ / 2016-025 / Michael Polcyn (交換)
- HMG-1701 : アンモナイト *Takahashiceras eureka* / 2016-048 / 伊豆倉正隆・佐々木登
- HMG-1702 : アンモナイト *Neophylloceras hetonaiense* / 2016-049 / 伊豆倉正隆
- HMG-1703 : アンモナイト *Neophylloceras hetonaiense* / 2016-049 / 伊豆倉正隆
- HMG-1704 : アンモナイト *Neophylloceras hetonaiense* / 2016-049 / 伊豆倉正隆
- HMG-1705 : アンモナイト *Neophylloceras hetonaiense* / 2016-049 / 伊豆倉正隆
- HMG-1706 : アンモナイト *Neophylloceras hetonaiense* / 2016-049 / 伊豆倉正隆
- HMG-1707 : アンモナイト *Neophylloceras hetonaiense* / 2016-049 / 伊豆倉正隆
- HMG-1708 : アンモナイト *Pachydiscus* sp. / 2016-049 / 伊豆倉正隆
- HMG-1709 : アンモナイト *Anagaudryceras matsumotoi* / 2016-049 / 伊豆倉正隆
- HMG-1710 : アンモナイト *Gaudryceras izumiense* / 2016-049 / 伊豆倉正隆
- HMG-1711 : アンモナイト *Gaudryceras izumiense* / 2016-049 / 伊豆倉正隆
- HMG-1712 : アンモナイト *Gaudryceras izumiense* / 2016-049 / 伊豆倉正隆
- HMG-1713 : アンモナイト *Gaudryceras izumiense* / 2016-049 / 伊豆倉正隆
- HMG-1714 : アンモナイト *Gaudryceras izumiense* / 2016-049 / 伊豆倉正隆
- HMG-1715 : アンモナイト *Gaudryceras izumiense* / 2016-049 / 伊豆倉正隆
- HMG-1716 : アンモナイト *Gaudryceras izumiense* / 2016-049 / 伊豆倉正隆
- HMG-1717 : アンモナイト *Gaudryceras izumiense* / 2016-049 / 伊豆倉正隆
- HMG-1718 : アンモナイト *Gaudryceras izumiense* / 2016-049 / 伊豆倉正隆
- HMG-1719 : アンモナイト *Tetragonites terminus* / 2016-049 / 伊豆倉正隆
- HMG-1720 : アンモナイト *Tetragonites terminus* /

- 049 / 伊豆倉正隆
HMG-1768 : イノセラムス *Inoceramid bivalbia* / 2016-049 / 伊豆倉正隆
HMG-1769 : イノセラムス *Inoceramid bivalbia* / 2016-049 / 伊豆倉正隆
HMG-1770 : イノセラムス *Inoceramid bivalbia* / 2016-049 / 伊豆倉正隆
HMG-1771 : イノセラムス *Inoceramid bivalbia* / 2016-049 / 伊豆倉正隆
HMG-1772 : イノセラムス *Inoceramid bivalbia* / 2016-049 / 伊豆倉正隆
HMG-1773 : イノセラムス *Inoceramid bivalbia* / 2016-049 / 伊豆倉正隆
HMG-1774 : イノセラムス *Inoceramid bivalbia* / 2016-049 / 伊豆倉正隆
HMG-1775 : イノセラムス *Inoceramid bivalbia* / 2016-049 / 伊豆倉正隆
HMG-1776 : イノセラムス *Inoceramid bivalbia* / 2016-049 / 伊豆倉正隆
HMG-1777 : イノセラムス *Inoceramid bivalbia* / 2016-049 / 伊豆倉正隆
HMG-1778 : イノセラムス *Inoceramid bivalbia* / 2016-049 / 伊豆倉正隆
HMG-1779 : イノセラムス *Inoceramid bivalbia* / 2016-049 / 伊豆倉正隆
HMG-1780 : イノセラムス *Inoceramid bivalbia* / 2016-049 / 伊豆倉正隆
HMG-1781 : イノセラムス *Inoceramid bivalbia* / 2016-049 / 伊豆倉正隆
HMG-1782 : イノセラムス *Inoceramid bivalbia* / 2016-049 / 伊豆倉正隆
HMG-1783 : イノセラムス *Inoceramid bivalbia* / 2016-049 / 伊豆倉正隆
HMG-1784 : イノセラムス *Inoceramid bivalbia* / 2016-049 / 伊豆倉正隆
HMG-1785 : イノセラムス *Inoceramid bivalbia* / 2016-049 / 伊豆倉正隆
HMG-1786 : イノセラムス *Inoceramid bivalbia* / 2016-049 / 伊豆倉正隆
HMG-1787 : イノセラムス *Inoceramid bivalbia* / 2016-049 / 伊豆倉正隆
HMG-1788 : イノセラムス *Inoceramid bivalbia* / 2016-049 / 伊豆倉正隆
HMG-1789 : イノセラムス *Inoceramid bivalbia* / 2016-049 / 伊豆倉正隆
HMG-1790 : イノセラムス *Inoceramid bivalbia* / 2016-049 / 伊豆倉正隆
HMG-1791 : イノセラムス *Inoceramid bivalbia* / 2016-049 / 伊豆倉正隆
HMG-1792 : イノセラムス *Inoceramid bivalbia* / 2016-049 / 伊豆倉正隆
HMG-1793 : カメ化石 / 2016-026 / 服部義幸 (千歳化石会)
HMG-1796 : カメ化石 / 2016-039 / 穂別博物館
HMG-1797 : 二枚貝 *Adipicola* / 1981-004 / 大塚義隆・穂別町教育委員会
HMG-1798 : 二枚貝 *Adipicola* / 1981-004 / 大塚義隆・穂別町教育委員会
HMG-1799 : 二枚貝 *Adipicola* / 1981-004 / 大塚義隆・穂別町教育委員会
HMG-1800 : 二枚貝 *Adipicola* / 1981-004 / 大塚義隆・穂別町教育委員会
HMG-1801 : 二枚貝 *Adipicola* / 1981-004 / 大塚義隆・穂別町教育委員会
HMG-1802 : 二枚貝 *Adipicola* / 1981-004 / 大塚義隆・穂別町教育委員会
HMG-1803 : 二枚貝 *Adipicola* / 1981-004 / 大塚義隆・穂別町教育委員会
HMG-1804 : 二枚貝 *Adipicola* / 1981-004 / 大塚義隆・穂別町教育委員会
HMG-1805 : 二枚貝 *Adipicola* / 1981-004 / 大塚義隆・穂別町教育委員会
HMG-1806 : 二枚貝 *Adipicola* / 1981-004 / 大塚義隆・穂別町教育委員会
HMG-1807 : 二枚貝 *Adipicola* / 1981-004 / 大塚義隆・穂別町教育委員会
HMG-1808 : 二枚貝 *Adipicola* / 1981-004 / 大塚義隆・穂別町教育委員会
HMG-1809 : 二枚貝 *Adipicola* / 1981-004 / 大塚義隆・穂別町教育委員会
HMG-1810 : 二枚貝 *Adipicola* / 1981-004 / 大塚義隆・穂別町教育委員会
HMG-1811 : 二枚貝 *Adipicola* / 1981-004 / 大塚義隆・穂別町教育委員会
HMG-1812 : 二枚貝 *thyasiridae* / 1981-004 / 大塚義隆・穂別町教育委員会
HMG-1813 : イノセラムス *Inoceramus (Platyceramus) japonicus* / 2016-050 / 西村智弘
HMG-1814 : ティラノサウルス *Tyrannosaurus rex* "Scotty" 全身復元骨格レプリカ / 2016-055 / 購入
【自然系資料 (HMB)】 (現生生物) : 2点
HMB-168 : クマタカ (剥製) / 2016-041 / 明河新一 (むかわ町)

HMB-169 : コウライキジ (剥製) / 2016-042 / 明河
新一 (むかわ町)

V 収蔵資料の活用 (研究)

【資料調査】

[自然史系資料 (HMG)] (7件)

- (1) 長頸竜化石
 - ① 佐藤たまき (東京学芸大学准教授)、平成28(2016)年4月27日-5月2日
 - ② 伊庭靖弘 (北海道大学助教)・安翔宇 (北海道大学) ほか、平成28(2016)年7月21日
 - ③ 佐藤たまき (東京学芸大学准教授)、平成28(2016)年8月25日-27日
 - ④ 佐藤たまき (東京学芸大学准教授)、平成28(2016)年12月2日-3日
- (2) ウミガメ化石
 - ① 中島保寿 (東京大学)、平成28(2016)年8月25日-26日
 - ② 吉田将崇 (東京大学大学院)、平成28(2016)年11月10日-11日
- (3) その他中生代脊椎動物化石全般
 - ① 関口修司 (東京学芸大学大学院)、平成28(2016)年8月25日-30日;平成29年1月6日-7日

【貸出 (研究)】

[自然史系資料 (HMG)] (10件・43点)

- (1) HMG-366、HMG-367、HMG-1053、HMG-1054、HMG-1055 (ウミガメ化石5点): 平山廉 (早稲田大学) <平成6(1994)年8月17日-平成29(2017)年3月31日>
- (2) HMG-1063、HMG-1064 (ウミガメ化石2点): 平山廉 (早稲田大学) <平成7(1995)年5月11日-平成29(2017)年3月31日>
- (3) HMG-1443、HMG-1444 (カサガイ付きアンモナイト2点): 加瀬友喜 (国立科学博物館) <平成21(2009)年7月9日-平成28(2016)年3月31日>
- (4) HMG-0399 (アンモナイト1点): 前田晴良 (京都大学) <平成23(2011)年10月17日-平成29(2017)年3月31日>
- (5) HMG-0357 (長頸竜化石1点): 佐藤たまき (東京学芸大学) <平成23(2011)年11月25日-平成29(2017)年3月31日>
- (6) HMG-1642 (コケムシ化石1点): マシュー・ヒル・ディック (北海道大学) <平成26(2014)年7月15日-平成28(2016)年9月20日>

- (7) HMG-1 (長頸竜ホベツアラキリュウ: ①上腕骨、②大腿骨、③後部頸椎、④前部胴椎、⑤後部胴椎、⑥頸肋骨、⑦胴肋骨 (遠位端)、⑧胴肋骨 (骨体)、⑨胴肋骨 (近位端)、⑩腹肋骨)、HMG-1067 (長頸竜鳴原標本: ⑪前部頸椎、⑫前部胴肋骨、⑬後部胴肋骨、⑭大腿骨) 計14点: 林昭次 (大阪市立自然史博物館) <平成27(2015)年10月27日-平成28(2016)年10月26日>
- (8) HMG-1689 (鞍形類顎器1点): 棚部一成 (東京大学総合博物館) <平成28(2016)4月1日-平成28(2016)11月17日>
- (9) HMG-1067 (長頸竜化石、遊離歯3点): 佐藤たまき (東京学芸大学) <平成28(2016)年5月2日-平成29(2017)年3月31日>
- (10) HMG-1067 (長頸竜化石: 椎骨11点・腸骨1点)、2016-027 (長頸竜化石1点) 計13点: 佐藤たまき (東京学芸大学) <平成29(2017)年1月20日-平成30(2018)年1月19日>

VI 収蔵資料の活用 (研究以外)

【貸出 (展示)】

[自然史系資料 (HMG)] (11件・192点)

- (1) アンモナイト (HMG-842)・イノセラムス (HMG-883) 計2点: 穂別地球体験館 <平成7(1995)年4月1日-平成29(2017)年3月31日>
- (2) アンモナイト (HMG-620、HMG-626)、ノジュール (HMG-1677) 計3点: 名古屋市科学館 (展示) <平成28(2016)年1月6日-6月30日>
- (3) むかわ竜化石 (右大腿骨)、恐竜化石入り石膏ジャケット (J4)、むかわ竜化石入り岩石48点、発掘調査道具19点、計69点: 国立科学博物館 恐竜博2016 <平成28(2016)年3月1日-6月22日>
- (4) アンモナイト (HMG-17、HMG-273、HMG-917)、イノセラムス (HMG-52、HMG-938、HMG-965) 計6点: 群馬県立自然史博物館 20周年記念展「超肉食恐竜 *T. rex* 展」 <平成28(2016)年6月20日-平成28(2016)年12月15日>
- (5) むかわ竜化石 (胴椎1点、肋骨1点、血道弓1点、歯2点)、恐竜化石石膏ジャケット (J4)、発掘調査道具 (15点) 計21点: 恐竜博2016 (北九州会場・大阪会場) <平成28(2016)年6月21日-平成29(2017)年2月3日>
- (6) むかわ竜化石 (右大腿骨)、フォスフォロサウルス・ポンペレガンス頭骨複製標本 (分離)、発掘用具一式 (タガネ、ドライバー、ハケ、金槌、くま

で、パラロイド、シャベル、筆、石膏、麻布、ピック)
計 13 点：北海道大学総合博物館 トピックス展示
＜平成 28(2016) 年 6 月 21 日 - 9 月 10 日＞

(7) ホベツアラキリュウ全身骨格(貸出用) 1 点：北海道博物館 第 2 回特別展「ジオパークへ行こう！

- 恐竜、アンモナイト、火山、地球の不思議を探
す旅 -」＜平成 28(2016) 年 6 月 22 日 -10 月 7 日＞

(8) モササウルス類小型生体復元模型、モササウルス・
ホベツエンシスのレプリカ(右前肢)、「太古の海」
ブルーレイディスク(計 3 点)：札幌国際観光株式
会社センチュリーロイヤルホテル「2016 年夏休み特
別企画 化石展」＜平成 28(2016) 年 7 月 20 日 -9
月 3 日＞

(9) アンモナイト (HMG-1650-1676) (計 27 点)：
浦河町立郷土博物館「浦河産アンモナイト新研究
2016」＜平成 28(2016) 年 10 月 14 日 -11 月 3 日＞

(10) むかわ竜化石(尾椎 1 点、肋骨 2 点、歯 1 点)、
アンモナイト (HMG-0140)、メソダーモケリス
(HMG-1476)、モササウルス (HMG-12 ヒレレプ
リカ)、発掘道具(15 点)、実物大産出状況イラス
ト、展示ケース(6 点) 計 29 点：NHK 室蘭放送局
(「冬休み企画 恐竜化石発掘展」にて展示)＜平成
28(2016) 年 12 月 27 日 -平成 29(2017) 年 1 月 11
日＞

(11) むかわ竜イラスト(遺骸が流されている図：1 点)、
実物大化石産出写真(1 点)、石膏ジャケット(1 点)、
発掘道具(15 点) 計 18 点：札幌市博物館活動セン
ター(「2017 博物館フェスタ in チカホ」にて展示)
＜平成 28(2016) 年 12 月 28 日 -平成 29(2017) 年 1
月 13 日＞

[人文系資料 (HMC)] (1 件・5 点)

(1) パン焼き器 (HMC-0085)、パン焼き器の台 (HMC-
0087)、なべ (HMC-0086)、なべ (HMC-0727)、火
鉢 (HMC-0203) 計 5 点：むかわ町生涯学習課社会
教育 G 田代雄介(郷土資料に係る企画展)＜平成
28(2016) 年 4 月 5 日 -8 月 20 日＞

【貸出(普及教育)】

[自然系資料 (HMG) 等] (6 件・29 点)

(1) ホベツアラキリュウ頭骨レプリカ、アンモナイト
(ユーパキディスキス HMG-1418・HMG-1419、他
アンモナイト 97-011、97-018、97-033、98-011、98-
107、98-132、98-133、99-031) 計 10 点：地域振興
課恐竜ワールド推進 G 太田晶(母子通園センター
穂別きらり「恐竜・化石教室」)＜平成 28 年(2016)
年 4 月 19 日＞

(2) アンモナイト(ポリプチコセラス HMG-0509、ユー

ボストリコセラス HMG-0647、ユーパキディスキス
HMG-1418・HMG-1419) 4 点：地域振興課恐竜ワー
ルド推進 G 太田晶(鶴川放課後子どもセンター「恐
竜・化石教室」)＜平成 28 年(2016) 年 6 月 19 日 -6
月 20 日＞

(3) アンモナイト(パキディスキス HMG-0920、ユー
パキディスキス HMG-1418、ユーパキディスキス
HMG-1419、スカフィテス 1996-8-1) 計 4 点：地域
振興課恐竜ワールド推進 G 太田晶(放課後宮戸教
室)＜平成 28 年(2016) 年 8 月 22 日 -23 日＞

(4) アンモナイト(ユーパキディスキス HMG-1418、
HMG-1419)、ワニ剥製、ハイタカ剥製、シジュウカ
ラ剥製 計 5 点：地域振興課恐竜ワールド推進 G
太田晶(胆振管内社会教育主事等研修会)＜平成 28
年(2016) 年 10 月 11 日 -12 日＞

(5) アンモナイト(ユーパキディスキス HMG-1418、
HMG-1419)、ワニ剥製、シジュウカラ剥製 計 4 点：
地域振興課恐竜ワールド推進 G 太田晶(商工会女
性部例会「太田先生の恐竜講座」)＜平成 29(2017)
年 1 月 21 日 -22 日＞

(6) アンモナイト(ユーパキディスキス HMG-1418、
HMG-1419) 計 2 点：地域振興課恐竜ワールド推
進 G 太田晶(「むかわ町ふれあい大学」)＜平成
29(2017) 年 2 月 24 日 -28 日＞

[自然系資料 (HMB)] (3 件・10 点)

(1) ワニ剥製、ハイタカ剥製 (HMB-001)、シジュウ
カラ剥製 計 3 点：地域振興課恐竜ワールド推進 G
太田晶(穂別地球体験館「恐竜・化石教室」)＜
平成 28 年(2016) 年 6 月 26 日＞

(2) ワニ剥製、ハイタカ剥製 (HMB-001)、シジュウ
カラ剥製 3 点：地域振興課恐竜ワールド推進 G
太田晶(穂別地球体験館「太田先生の恐竜講座」)
＜平成 28 年(2016) 年 8 月 9 日 -10 日＞

(3) ワニ剥製、ハイタカ剥製、シジュウカラ剥製、始
祖鳥(複製) 計 4 点：地域振興課恐竜ワールド推
進 G 太田晶(穂別地球体験館「太田先生の恐竜講
座」)＜平成 28 年(2016) 年 11 月 19 日 -28 日＞

[自然系資料 (HMB)・人文系資料 (HMC)]

(HMB : 2 件・22 点、HMC : 1 件・3 点)

① HMB-2、3、4、7、9、11、12、17、19、21、22、
25、26、29、30、40、41、43、98、99(剥製標本 20
点)：むかわ町立穂別小学校＜平成 7(1995) 年 4 月 1
日 -平成 28(2016) 年 3 月 31 日＞

② HMB-36、HMB-47(剥製標本 2 点)、HMC-2797、
HMC-2798、HMC-2799、HMC-2821(ジオラマ 4 点)
計 6 点：むかわ町立穂別小学校＜平成 8(1996) 年 6
月 14 日 -平成 28(2016) 年 3 月 31 日＞

【写真等提供（展示・出版・報道等）】（18件・90点）

- (1) パン焼き器（HMC-0085）、パン焼き器の台（HMC-0087）、なべ（HMC-0086）、なべ（HMC-0727）、火鉢（HMC-0203）計5点：むかわ町生涯学習課社会教育G 田代雄介（郷土資料ミニ展示のパンフレット、町報文化財だより）＜平成28(2016)年6月2日＞
- (2) ホベツアラキリュウ全身復元骨格写真ほか(5点)：苫小牧民報社（フリーペーパー Cocot 5月号）＜平成28(2016)年4月22日発行＞
- (3) むかわ竜化石写真ほか（計48点）：株式会社誠文堂新光社（「ザ・パーフェクト-日本初の恐竜全身骨格発掘記：ハドロサウルス科の発見から進化の謎まで」）＜平成28(2016)年7月4日発行＞
- (4) ホベツアラキリュウ全身復元骨格写真（1点）：室蘭開発建設部地域振興対策室（HP「国土交通省北海道開発局室蘭開発建設部 魅力体験！ いぶり・ひだかの観光情報」）＜平成28(2016)年7月8日＞
- (5) ホベツアラキリュウ全身復元骨格写真（1点）：総合商研株式会社（北海道応援マガジン JP01 Vol.12）＜平成28(2016)年7月29日発行＞
- (6) ホッピーだより No.371「日本の恐竜産地紹介」の図（1点）：NHKステラ編集部（NHKウィークリーステラ8/12・8/19合併号）＜平成28(2016)年8月3日発行＞
- (7) むかわ竜化石の産出部位、むかわ竜化石の産状（2点）：株式会社G.B.（株式会社宝島社TJMook「最新版！恐竜のすべて」）＜平成28(2016)年8月23日発行＞
- (8) むかわ竜化石写真（上顎骨、発掘現場：計2点）：株式会社世界文化クリエイティブ（ワンダーしぜんランド9月号「恐竜」）＜平成28(2016)年9月1日発行＞
- (9) 穂別博物館所蔵 古写真一覧・写真データ：穂別診療所（「穂別診療所まつり」にて展示）平成28(2016)年9月14日作成＞
- (10) ホベツアラキリュウ全身骨格写真、大型アンモナイト写真、モササウルス（右前肢ヒレ）写真、モササウルス類生体復元模型写真、むかわ竜尾椎骨写真、むかわ竜産出部位説明図、むかわ竜産状写真、むかわ竜化石の分布図 計8点：株式会社G.B.（株式会社宝島社ムック「世界に誇る！ 恐竜大国日本」に掲載）＜平成28(2016)年11月18日発行＞
- (11) むかわ竜産出部位紹介図 1点：むかわ東京会（「むかわ東京会会報」に掲載）＜平成28(2016)年11月30日発行＞
- (12) むかわ竜胴椎化石写真、むかわ竜発掘（2014年

- 9月17日）、むかわ竜発掘（2014年9月19日）、むかわ竜発掘（2014年9月22日）、上顎骨のクリーニング作業写真、むかわ竜大腿骨発掘現場（2013年9月24日）、小林快次准教授による発掘作業写真、恐竜化石産状（2013年9月）計8点：NHK室蘭放送局＜平成28(2016)年12月19日発行＞
- (13) 穂別博物館写真（1点）、ホベツアラキリュウ全身復元骨格写真（1点）計2点：株式会社FMノースウェーブ（FM NORTH WAVE ALL HOKKAIDO CRUSIN' 宣伝ちらしおよびweb広報）＜平成29(2017)年2月8日発行＞
- (14) モササウルス類生体復元模型写真 1点：JTB（旅行パンフレット「たびネタ北海道」に掲載）＜平成29(2017)年2月発行予定＞
- (15) 「むかわと世界の恐竜パネル展 図版」 2点：神奈川県立地球市民かながわプラザ（「キョウリュウたちと、あそぶへや」展にて使用）＜平成29(2017)年4月1日＞
- (16) フォーフオロサウルス頭骨レプリカ（1点）、イノセラムス・ホベツエンシス（1点）計2点：株式会社 美和企画（「学研の図鑑 LIVE 古生物」に掲載）＜平成29(2017)年2月発行予定＞
- (17) モササウルス類生体復元模型写真 1点：ドゥアードドゥブランニング有限公司（「ヒサクニヒコ 恐竜絵地図」）＜平成29(2017)年6月予定＞
- (18) フォスフォロサウルス・ポンペテレガンス復元頭骨写真 1点：株式会社技術評論社（書籍「ミステリーPRO 図譜」へ掲載）＜平成29(2017)年夏発行予定＞

Ⅶ 町指定文化財への登録

むかわ町文化財保護条例第6条の規定に基づき、下記の収蔵資料7点について、むかわ町指定文化財に登録手続きを行った。指定年月日は平成29(2017)年4月1日。

- (1) むかわ町文化財第4号：フォスフォロサウルス・ポンペテレガンス（HMG-1528）
- (2) むかわ町文化財第5号：モササウルス・ホベツエンシス（HMG-12）
- (3) 第6号：メソダーモケリス・ウンデュラータス（HMG-5）
- (4) 第7号：アノマロケリス・アングラータ（HMG-1056）
- (5) 第8号：ティロサウルス（未定種）（HMG-371）
- (6) 第9号：モササウルス・プリズマティクス（HMG-

VIII その他収蔵資料管理

(1) 人文資料の移設

クリーニング作業が進行している恐竜化石やその他の化石資料の保管場所を確保するため、かせき学習館2階の人文系資料を一時的に旧仁和中学校校舎へ移動した。

(2) ティラノサウルス「スコッティ」の入手

カナダ・サスカチュワン州にて1991年に発見され、ロイヤル・サスカチュワン博物館の知見と監修の下、カナダ・リサーチキャスティング社 (Research Casting International) によって2013年に復元、2016年に製作されたティラノサウルス「スコッティ」の全身復元骨格全3体のうちの1体(2016年現在)で、株式会社朝日新聞社がリサーチキャスティング社から輸入し、所有する、「恐竜博2016」にて展示された一式を入手した。



恐竜博2016 大阪会場 (2016. 9. 17-2017. 1. 9)



ミニ企画展 (2016. 11. 12-12. 4)



小中高一貫ふるさとキャリア教育 (2016. 10. 28)



博物館バスツアー (北海道博物館) (2016. 11. 13)

I 調査研究活動

【穂別産恐竜化石発掘調査（第四次発掘調査）】

第一次発掘（平成25年度）・第二次発掘（平成26年度）を通じて恐竜化石の大部分は回収できた見込みであるが、主要な産出位置から離れた場所にも化石が埋没している可能性があることから、第三次発掘（平成27年度）に引き続き補足調査として第四次発掘を実施した。

1. 発掘期間

平成28(2016)年7月26日：事前整備（覆土除去）
平成28(2016)年7月29日：仮設トイレ設置
平成28(2016)年7月30日・31日、8月27日・28日、
9月3日・4日・10日・11日・17日・18日：発掘調査（作業日10日間）
平成28(2016)年9月30日：事後整備（現場被覆）

2. 発掘体制・参加人数

(1) 発掘体制：穂別博物館が中心となって実施した。

①穂別博物館：櫻井和彦学芸員、西村智弘学芸員、下山正美学芸補助員、葛西素美学芸補助員、高橋孝学芸補助員、中村正彦学芸補助員、村上隆ボランティア（計7名）。

②穂別博物館協力会：山田正

③その他ボランティア：太田晶（恐竜ワールド推進G）、干場芽衣（地域経済課産業G）、高橋唯（筑波大学・大学院）

(2) 参加人数（発掘調査のみ。現場整備含まず）

一日平均5.9人。のべ59人。

3. 採集資料等

(1) 採集標本数：276点

内訳

①恐竜化石：2点

②その他の化石：274点（アンモナイト、二枚貝、巻貝、その他）

4. 現場視察等

(1) 現場視察

①平成28(2016)年8月4日 恐竜ワールドセンター・恐竜ワールド講演会講師ほか（大9）

②平成28(2016)年8月11日 北海道水産林務部次長、北海道胆振総合振興局森林室室長・主幹、苫小牧広域森林組合参事ほか（大6）

③平成28(2016)年8月25日 HBC 発掘現場テレビ中継（大11）

④平成28(2016)年9月11日 北海道胆振総合振興局森林室 大堀尚己室長（大1）

5. 普及教育活動

①恐竜化石発掘体験ツアー

発掘調査に合わせて発掘現場にて化石採集体験を実施した。

実施日：7月30日・31日（町民向け）

8月27日・28日、9月3日・4日・10日・11日・

17日・18日（一般向け）（計10日間）

参加人数計：190人

6. 申請行為

(1) 保安林内作業許可申請

申請：平成28年4月

期間：平成28年7月1日～平成30年6月30日

(2) 第二種普通財産貸付申請

変更申請：平成28年4月

期間：平成25年6月21日～平成30年6月30日

【研究者等の来館】

平成28(2016)年4月

27日-5月2日 佐藤たまき（東京学芸大学准教授）：
長頸竜化石の調査

平成28(2016)年6月

20日 田中嘉寛（沼田町化石館学芸員）：化石資料
調査

平成28(2016)年7月

7日 疋田吉識（中川町自然誌博物館学芸員）：展
示視察

8日 斉藤均（黒松内町ブナセンター学芸員）：展
示視察

21日 伊庭靖弘（北海道大学助教）・安翔宇（北海
道大学）ほか：長頸竜化石の調査

平成28(2016)年8月

25日-26日 中島保寿（東京大学）：ウミガメ化石
の調査

25日-27日 佐藤たまき（東京学芸大学准教授）：
長頸竜化石の調査

25日-28日 高橋唯（筑波大学大学院）

25日-30日 関口修司（東京学芸大学大学院）

平成28(2016)年9月

23日 西本昌司（名古屋市科学館学芸員）・吉田英
一（名古屋大学教授）・村宮悠介（名古屋大学大
学院）：コンクリーション調査

平成28(2016)年10月

21日 小林快次（北海道大学総合博物館准教授）：
恐竜化石の調査

平成 28(2016) 年 11 月

10 日 -11 日 吉田将崇 (東京大学大学院) : ウミガメ化石調査

平成 28(2016) 年 12 月

2 日 -3 日 佐藤たまき (東京学芸大学准教授) : 長頸竜化石の調査

3 日 小林快次 (北海道大学総合博物館准教授) : 恐竜化石の調査

7 日 田中公教 (北海道大学大学院) : 化石のクリーニング手法の研修

14 日 小林快次 (北海道大学総合博物館准教授)、キシグジャヴ・ツクトバアタル Khishigjav Tsogtbaatar (モンゴル科学アカデミー古生物学センター)、チンゾリク・ツクトバアタル Chinzorig Tsogtbaatar (同前) : 恐竜化石の調査

平成 29(2017) 年 1 月

6 日 -7 日 関口修司 (東京学芸大学大学院) : 脊椎動物化石の調査

16 日 小林快次 (北海道大学総合博物館准教授) : 恐竜化石についての打ち合わせ

II 刊行物

【むかわ町穂別博物館研究報告】

ISSN 1882-5249

(1) 第 32 号、60 頁 : 平成 29(2017) 年 3 月 1 日発行
<掲載内容>

① 重田康成・伊豆倉正隆 : 白亜紀アンモナイト
Takahashiceras eureka (Matsumoto) 第三標本の発見

② Yasunari Shigeta, Masataka Izukura and Yukiyasu Tsutsumi: An early Maastrichtian (latest Cretaceous) ammonoid fauna from the Soya Hill area, Hokkaido, northern Japan.

③ 楠橋直・西村智弘・大藤弘明・皆川鉄雄・齊藤哲・前田良晴 : 北海道穂別富内地域の上部白亜系函淵層 (蝦夷層群) に見られる海緑石

III 論文発表

(1) 重田康成 (国立科学博物館)・伊豆倉正隆 (札幌市)・西村智弘 (穂別博物館)・堤之恭 (国立科学博物館) : Middle and late Campanian (Late Cretaceous) ammonoids from the Urakawa area, Hokkaido, northern

Japan. *Paleontological Research*, vol.20, pp.322-366.

(2) 棚部一成 (東京大学総合研究博物館)・御前明洋 (北九州市立自然史・歴史博物館)・疋田吉識 (中川町自然誌博物館)・西村智弘 (穂別博物館) : New records of coleoid cephalopod jaws from the Upper Cretaceous of Hokkaido, Japan, and their paleobiogeographic and evolutionary implications. *Cretaceous Research*, <http://dx.doi.org/10.1016/j.cretres.2016.10.009>.

IV 学会発表

(1) 棚部一成 (東京大学・博)・御前明洋 (北九州市立自然史・歴史博物館)・疋田吉識 (中川町エコミュージアムセンター)・西村智弘 (穂別博物館)・Dirk Fuchs (ベルリン自由大学) : 北太平洋域の後期白亜紀鞘形類動物群とその意義. 日本古生物学会第 166 回例会. 口頭発表. 平成 29(2017) 年 1 月 27 日 -29 日, 早稲田大学.

(2) 吉田将崇 (東京大学・理)・平山廉 (早稲田大学)・吉村健 (弘前大学・医)・佐藤たまき (東京学芸大学)・西村智弘 (穂別博物館) : 北海道小平町の上白亜系蝦夷層群から産出したウミガメ類 (カメ目: ウミガメ上科) 化石. 日本古生物学会第 166 回例会. ポスター発表. 平成 29(2017) 年 1 月 27 日 -29 日, 早稲田大学.

(3) 粕川茜・丸山俊明・本山功 (山形大学・理)・西村智弘・櫻井和彦 (穂別博物館)・松崎賢史 (東京大学) : 北海道日高地方波恵川クジラ化石産出地点周辺の中新統の地質と珪藻化石年代. 2016 年度微古生物学リファレンスセンター研究集会・放散虫研究集会合同山形大会. 口頭発表. 平成 29(2017) 年 3 月 2 日 -5 日, 山形大学.

V その他寄稿

(1) 西村智弘 : 日本を代表するモササウルス類化石が世に出るまで, 自然と科学の情報誌 *milsil* (ミルシル), vol. 9, no. 5, p. 20-21, 2016

(2) 西村智弘 : 北海道および穂別地域の化石・古生物学史と 2013・2014 年に発掘した調査・研究中のハドロサウルス科恐竜について, 日本応用地質学会北海道支部・北海道応用地質研究会会報 *Epoch*, no 73. p. 1-7, 2016.

VI 学会・大会・研修会等への参加

【日本古生物学会】

- (1) 2016 年年会<平成 28(2016) 年 6 月 24 日 -26 日>
福井県立大学・福井県立恐竜博物館：西村智弘学芸員出席
- (2) 第 166 回例会<平成 29(2017) 年 1 月 27 日 -29 日>
早稲田大学：櫻井和彦学芸員出席

【博物館協会等の大会・研修会等】

- (1) 北海道博物館協会
 - ①北海道博物館大会<平成 28(2016) 年 7 月 7 日>：
田口博館長出席

- (2) 日胆地区博物館等連絡協議会

- ①総会（北海道博物館大会と同時開催）<平成 28(2016) 年 7 月 7 日>：田口博館長出席
- ②館長会議及び拡大役員会<平成 29(2017) 年 2 月 17 日>：田口博館長出席

- (3) ミュージアムマネジメント学会

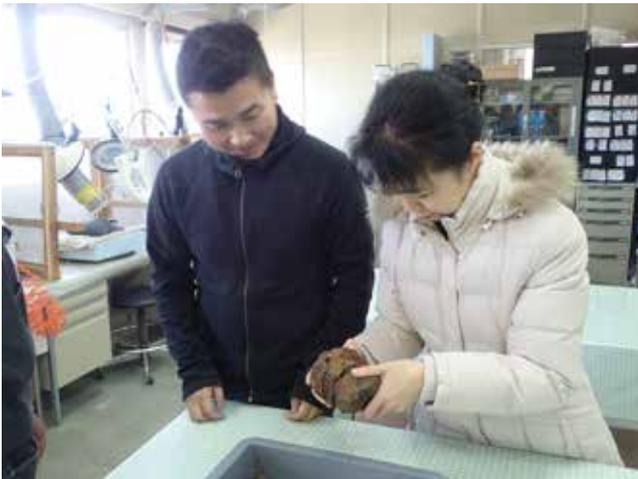
- ①総会・研修会<平成 28(2016) 年 6 月 17 日>：田口博館長出席

VI 協力団体との連携

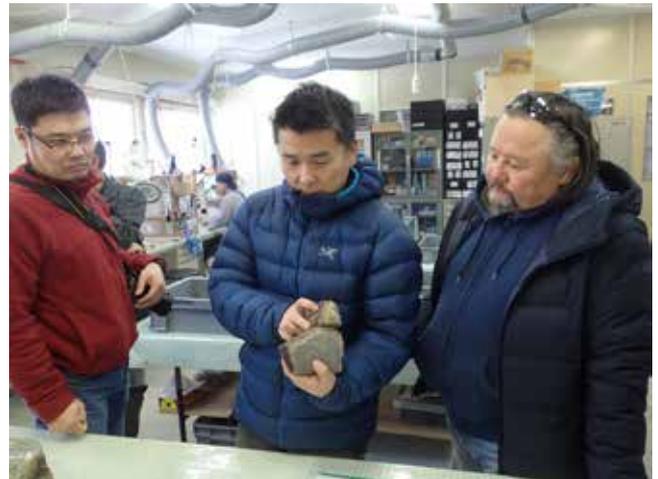
【穂別博物館協力会】

活動協力：

- 6 月 10 日 学習用地水洗（2 名参加）<学習用地の水洗補助および周辺草刈り>



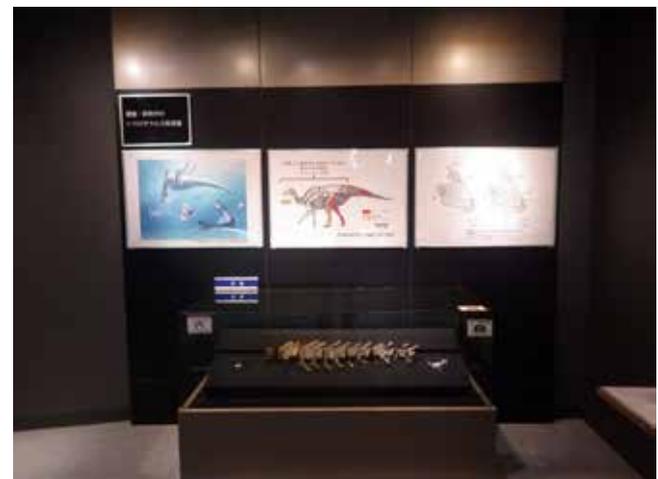
小林快次准教授・佐藤たまき准教授の来館（2016. 12. 3）



小林快次准教授ほかの来館（2016. 12. 14）



普及講演会（2016. 12. 3）



常設展 恐竜コーナー

I 行事等

【博物館協議会】

平成 28(2016) 年 8 月 25 日 第一回：8 名出席
 平成 28(2016) 年 10 月 22 日 視察研修(北海道博物館・
 北海道大学総合博物館見学)：4 名参加
 平成 28(2016) 年 12 月 22 日 第二回：6 名出席
 平成 29(2017) 年 2 月 14 日 第三回：7 名出席
 平成 29(2017) 年 3 月 28 日 第四回：6 名出席

【レプリカ作製技能研修】

FRP を用いた大型脊椎動物化石のレプリカ作製技術の習得のために、学芸補助員(嘱託職員)の 2 名を有限会社ゴビサポート・ジャパン(群馬県神流町)に派遣、研修を行った。

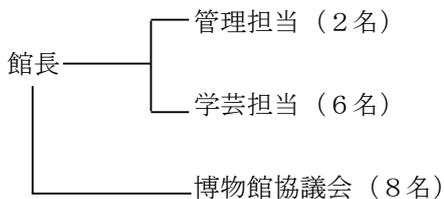
研修期間：平成 28 年 4 月 11 日～7 月 8 日

委員 大捕 功
 委員 栗原隼一

【博物館職員】<平成 28(2016) 年度>

<館長> 田口 博
 <管理担当>
 臨時職員 早瀬千佳
 臨時職員 多村こゆる(～9/30)
 臨時職員 田村見弥(12/1～)
 <学芸担当>
 学芸員 櫻井和彦
 学芸員 西村智弘
 学芸補助員(嘱託職員) 下山正美
 学芸補助員(嘱託職員) 葛西素美(～9/30)
 学芸補助員(臨時職員) 高橋孝
 学芸補助員(臨時職員) 中村正彦
 学芸補助員(臨時職員) 山田昇(11/1～12/13)
 ボランティア 村上 隆

II 組 織



III 刊行物

【むかわ町穂別博物館館報】

ISSN 1882-5230
 第 33 号：平成 27(2015) 年度版
 26 頁、平成 29(2017) 年 3 月発行

【博物館協議会委員】<平成 28(2016) 年度>

任期：平成 28(2016) 年 4 月 1 日 - 平成 28(2016) 年
 7 月 31 日

会 長 梅津讓一
 副会長 山田正
 委 員 鎌田政博
 委 員 只野繁
 委 員 田中波留美
 委 員 相澤孝行
 委 員 佐々木敏郎
 委 員 宮田千春

任期：平成 28(2016) 年 8 月 1 日 - 平成 30(2018) 年
 7 月 31 日

会 長 梅津讓一
 副会長 山田正
 委 員 只野繁
 委 員 田中波留美
 委 員 相澤孝行
 委 員 宮田千春

IV 利用状況

【常設展示観覧者】

平成 28(2016) 年 4 月～平成 29(2017) 年 3 月

月	大	小	小計	幼	合計	開館日
4	781	224	1,005	211	1,216	26
5	1,891	706	2,597	350	2,947	24
6	453	130	583	102	685	26
7	1,012	544	1,556	232	1,788	29
8	1,737	904	2,641	447	3,088	30
9	635	214	849	118	967	24
10	713	293	1,006	262	1,268	25
11	399	82	481	111	592	24
12	71	14	85	12	97	26
1	60	9	69	29	98	21
2	142	52	194	19	213	24
3	363	77	440	156	596	26
計	8,257	3,249	11,506	2,049	13,555	305

大:高校生より上、小:小学生～高校生、幼:小学生未満(無料)

(単位:人・日)

【博物館特定入館日】

【博物館開館記念日関連事業】

7月20日の開館記念日に関連して、平成28(2016)年7月16日(土)～7月22日(金)の7日間を町民無料入館日とした。

【国際博物館の日】

国際博物館会議(イコム、ICOM)のモスクワ大会(1977年)にて制定され、日本では平成14年度から日本博物館協会とイコム日本委員会が協力して記念事業が展開されることとなった「国際博物館の日」(5月18日)の趣旨に賛同し、当日を町民無料入館の日とした。

【博物館特定入館日に伴う町民無料入館】(単位:人)

実施日	行事名	大	小	計
H28.5.18	国際博物館の日	11	1	12
7.16-22	博物館開館記念日	3	0	3
9.19	敬老の日	3	0	3
11.3	文化の日	4	3	7
11.23	勤労感謝の日	11	0	11
H29.1.9	成人の日	5	0	5
計	12日	37	4	41

大:高校生より上、小:小学生～高校生

【町内児童生徒に対する入館料免除】

学校完全週五日制及び「総合学習」の導入に合わせ、むかわ町内児童生徒並びに引率者については無料観覧とした。(平成14年度より実施)

平成28年度の利用者数:66人

【年間入館者数の比較】

(単位:人)

分類	平成24年度 (2012)	平成25年度 (2013)	平成26年度 (2014)	平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)
個人	大	5,491	6,483	7,278	6,727
	小	2,050	2,527	2,611	2,218
団体	大	808	525	684	414
	小	767	559	378	383
計	9,116	10,307	10,951	9,742	11,506
幼	1,375	1,583	1,690	1,621	2,049
合計	10,491	11,890	12,641	11,363	13,555

個人:割引入館者(穂別地球体験館との共通利用割引)と無料入館者(特定入館日、減免等)を含む。

団体:10名以上、大:高校生より上、小:小学生～高校生、幼:小学生未満(無料)

V 歳入・歳出

【歳入】

区 分	有料入館者数	観覧料
一般 (大)	個人	4,838
	団体	393
	割引	1,357
学生 (小)	個人	1,621
	団体	333
	割引	502
小 計	9,044	2,005
諸収入	物品販売代	20
	体験学習料	47
小 計		67
合 計		2,072

(単位：人・千円)

【歳出】

費 目	金 額
報 酬	3,271
共 済 費	1,021
賃 金	4,852
報 償 費	160
旅 費	1,792
需 用 費	8,051
役 務 費	1,362
委 託 料	9,482
使用料及び賃借料	1,166
負担金補助及び交付金	37
工 事 費	0
備 品 購 入 費	4,280
補償補填及び賠償金	0
博 物 館 費 合 計	35,474

(単位：千円)

VI 利用案内

【開館時間】

午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）

【休館日】

- ・毎週月曜日。
- ・国民の祝日の翌日。ただし、その翌日が土曜日および日曜日に当たるときは月曜日とし、月曜日が国民の祝日又はその翌日に当たるときは火曜日及び水曜日とする。
- ・12月31日-1月5日。

【観覧料】

	一般	学生
個人	300円	100円
団体	200円	50円
割引	100円	無料

一般（大）：高校生より上

学生（小）：小学生～高校生

幼児（未就学児童）は無料（要大人の付添い）

団体：10人以上

割引：種別地球体験館（体験館）との共通利用割引（両施設を見学する場合の割引制度。体験館に先に入館した場合、この料金が適用される。当館を先に入館した場合は通常料金で、体験館の入館料が割引される。）

【減 免】

「（むかわ町立）博物館の展示場に入場しようとする者は、観覧料を納付しなければならない（むかわ町立博物館設置条例、第4条）」が「（むかわ町）教育委員会は、特別の理由があると認めるときは、観覧料を減免することができる（同条例、第5号）」。減免は、教育・研究・福祉を目的とし、以下に従う。

むかわ町立博物館施行規則第4条の規定による観覧料の減免は、次のとおりとする。

（教育目的）

1) むかわ町内の小・中学校及び高等学校の児童生徒と引率者が教育を目的として入館する場合。

（研究目的）

2) 国・地方公共団体及び学術研究機関の職員が調査・研究のため入館する場合。

(福祉目的)

3) 老人福祉法（昭和 38 年法律第 133 号）第 15 条に規定する町内の老人福祉施設が収容者の養護計画の実施のため入館する場合。

4) 知的障害者福祉法（昭和 35 年法律第 37 号）第 19 条に規定する町内の知的障害者援護施設が収容者の養護計画の実施のため入館する場合。

(公益目的)

5) 前各号に定めるもののほか、公益上または教育振興上特に館長が必要と認める場合。

むかわ町穂別博物館館報

第 3 4 号

平成 28（2016）年度版

発行 2018 年 3 月

発行者 むかわ町穂別博物館

〒 054-0211

北海道勇払郡むかわ町穂別 80 番地の 6

TEL/FAX (0145) 45-3141